

現場説明書（技術的事項）

工事名称 福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市山手町七丁目 13 番 63 号に位置し、市道山手 4 号線に接しています。

工事期間中、2026 年 7 月 18 日（土）から 8 月 24 日（月）夏休み、2026 年 12 月 24 日（木）から 2027 年 1 月 6 日（水）は冬休みです。なお、土曜日、日曜日、祝日を含めて、児童が登校しない日も校舎、屋内運動場、グラウンド等は使用することがあります。

2 別途工事

LED 照明改修工事

受変電設備改修工事

3 留意事項

- (1) 8 月 25 日（火）から 2 学期が開始するため、それまでに渡り廊下（北側）床及び渡り廊下（南側）床の改修工事を完了させ、使用可能な状態にしてください。
また、放課後児童クラブの児童利用経路等に支障がないよう、必要な対応をお願いします。
- (2) 夏休み期間中に予定する個人懇談会や登校日等の学校行事では、当日の作業内容について、あらかじめ施設管理者と協議が必要です。
- (3) 校舎等の使用状況により、施工方法及び内容に変更が生じる場合があります。
- (4) 工事着手後、速やかに外壁劣化数量調査を行い、調査報告書を提出のうえ監督員の承諾を得て改修工事に着手してください。
- (5) 工事期間中も学校施設を使用しているため、工事関係者はもとより、職員、児童、第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。
- (6) 現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、あらかじめ施設管理者と協議のうえ決定してください。また、工事用車両は、通学時間帯を避けて出入りしてください。
- (7) 工事期間中であっても、室内換気や空調設備が使用できるように必要な対策を講じてください。
- (8) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令、建設副産物適正処理推進要綱に従い、適切に処理してください。なお、再資源化を図る資材は、「その他がれき類、建設混合廃棄物、廃プラ」です。

4 一般留意事項

- (1) 工事にあたっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等にあたっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (3) 資材の搬出入時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう

注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。また、道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路にかかる維持管理は、受注者で行ってください。

- (4) 工事に係る留意事項は、下請負業者及び資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (5) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
- (6) 工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (7) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。また、仮囲い等については、設計図書等をもとに確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設、一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (8) 本工事場所の進入口、通路は、施設使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。
- (9) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工計画書等についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ない、手続きを行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。
- (15) 受注者は、工事实績情報システム（コリンズ）への登録内容をあらかじめ監督員の承諾を受け、次表の期間内に登録申請をしてください。


請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

- (16) 本工事は、インターネットを利用して発注者及び受注者の情報を電子的に交換・共有することにより、効率化を図る情報共有システムの対象工事です。本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者との契約は受注者が行い、利用料を支払ってください。運用に当たっては、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領（建築工事）及び情報共有システム利用手引（建築工事）」を参照してください。

本工事は、発注者指定型のため、共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいます。受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができます。

福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事

図 面 目 録	
図面番号	図 面 名 称
1	建築改修工事特記仕様書 No-1
2	建築改修工事特記仕様書 No-2
3	建築改修工事特記仕様書 No-3
4	建築改修工事特記仕様書 No-4
5	建築改修工事特記仕様書 No-5
6	建築改修工事特記仕様書 No-6
7	敷地案内図・配置図
8	1階・2階平面図
9	3階・4階平面図
10	R階平面図
11	立面図
12	矩計図・部分詳細図・F工法詳細図
13	渡り廊下（北側）各図面
14	渡り廊下（南側）各図面
15	附属棟 平面図・立面図 No. 1
16	附属棟 平面図・立面図 No. 2

工事名称 福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事		尺度 S = No scale	
図面名称 表紙・図面目録		縮尺率	図面No
	福山市建設局建築部営繕課	A1=100%	/
		A2= 71%	
		A3= 50%	

項目	特記事項																																																																																															
防水改修工事	<p>調査範囲 [1.6.2][1.6.3]</p> <p>調査方法 ・ 図示による</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示による</p> <p>調査報告書(提出部数・2部)</p>																																																																																															
降雨等に対する養生方法(とい共)	※改修標準仕様書3.1.3(5)(ア)～(ウ)による [3.1.3]																																																																																															
改修工法の種類及び工程	防水改修工法 [3.1.4] ○ 図示による																																																																																															
既存防水層の処理	既存保護層の撤去 [3.1.4][3.2.6] ・ 行う(範囲・図示による) ・ 行わない																																																																																															
既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 [3.2.6] ・ 図示による																																																																																															
アスファルト防水	<p>POS工法及びPOSIS工法(機械的固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした上り部等の処置 ※改修標準仕様書3.2.6(4)(ウ)(g)①～③による</p> <p>設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸理の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※監督職員と協議する ・ 図示による</p> <p>新設防水層(屋根保護絶縁工法)の種類 [3.2.5][3.3.2～3.3.5]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th> <th>新設種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>絶縁用シート</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ P2A</td> <td>・ A-1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">※ 577kPa以上 厚さ0.15mm以上 又は77kPa以上 70g/m²程度</td> </tr> <tr> <td>・ A-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ A-3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ P1B</td> <td>・ B-1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・ B-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ P2A1</td> <td>・ A1-1</td> <td></td> <td>(種類)</td> <td rowspan="3">※ 77kPa以上 70g/m²程度</td> </tr> <tr> <td>・ A1-2</td> <td></td> <td>※ JIS A 9521に基づく押出法577kPa以上断熱材3種A(※層付付き)</td> </tr> <tr> <td>・ A1-3</td> <td></td> <td>(厚さ)(mm)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ P1B1</td> <td>・ B1-1</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td>・ B1-2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3及び表3.3.4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上</p> <p>押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 ・</p> <p>平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 コンクリートの仕上りの平たさの種類 (種) 床タイル張り ※ 水下 60mm以上</p> <p>立上り部の保護方法 ・ 乾式保護材(乾式保護材の材料) ・ コンクリート押え ・ モルタル押え(屋内等) ・ れんが押え (図示による) ・ れんがの材料(※JIS R 1250)</p> <p>新設防水層(屋根露出工法)の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・ M4C</td> <td>・ C-1</td> <td></td> <td rowspan="4">77kPa以上の製造所の仕様</td> <td rowspan="4">※ 77kPa以上の製造所の仕様</td> <td rowspan="4">※ 77kPa以上の製造所の仕様</td> <td rowspan="4">・ 適用する</td> <td rowspan="4">・</td> </tr> <tr> <td>・ C-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C-3</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C-4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ M3D</td> <td>・ D-1</td> <td></td> <td rowspan="2">77kPa以上の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ 77kPa以上の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ 77kPa以上の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ 適用する</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ D-2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ M4D1</td> <td>・ D1-1</td> <td></td> <td rowspan="3">改修標準仕様書3.3.2(9)</td> <td rowspan="3">77kPa以上の製造所の仕様</td> <td rowspan="3">※ 77kPa以上の製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・ 適用する</td> <td rowspan="3">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ M3D1</td> <td>・ D1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ M4D1</td> <td></td> <td>(厚さ)(mm)</td> </tr> </tbody> </table>	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	・ P2A	・ A-1			※ 577kPa以上 厚さ0.15mm以上 又は77kPa以上 70g/m ² 程度	・ A-2			・ A-3			・ P1B	・ B-1			・	・ B-2			・ P2A1	・ A1-1		(種類)	※ 77kPa以上 70g/m ² 程度	・ A1-2		※ JIS A 9521に基づく押出法577kPa以上断熱材3種A(※層付付き)	・ A1-3		(厚さ)(mm)	・ P1B1	・ B1-1			・	・ B1-2			改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・ M4C	・ C-1		77kPa以上の製造所の仕様	※ 77kPa以上の製造所の仕様	※ 77kPa以上の製造所の仕様	・ 適用する	・	・ C-2			・ C-3			・ C-4			・ M3D	・ D-1		77kPa以上の製造所の仕様	※ 77kPa以上の製造所の仕様	※ 77kPa以上の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	・ D-2			・ M4D1	・ D1-1		改修標準仕様書3.3.2(9)	77kPa以上の製造所の仕様	※ 77kPa以上の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	・ M3D1	・ D1-2		・ M4D1		(厚さ)(mm)
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート																																																																																												
・ P2A	・ A-1			※ 577kPa以上 厚さ0.15mm以上 又は77kPa以上 70g/m ² 程度																																																																																												
	・ A-2																																																																																															
	・ A-3																																																																																															
・ P1B	・ B-1			・																																																																																												
	・ B-2																																																																																															
・ P2A1	・ A1-1		(種類)	※ 77kPa以上 70g/m ² 程度																																																																																												
	・ A1-2		※ JIS A 9521に基づく押出法577kPa以上断熱材3種A(※層付付き)																																																																																													
	・ A1-3		(厚さ)(mm)																																																																																													
・ P1B1	・ B1-1			・																																																																																												
	・ B1-2																																																																																															
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考																																																																																									
				種類	使用量																																																																																											
・ M4C	・ C-1		77kPa以上の製造所の仕様	※ 77kPa以上の製造所の仕様	※ 77kPa以上の製造所の仕様	・ 適用する	・																																																																																									
	・ C-2																																																																																															
	・ C-3																																																																																															
	・ C-4																																																																																															
・ M3D	・ D-1		77kPa以上の製造所の仕様	※ 77kPa以上の製造所の仕様	※ 77kPa以上の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない																																																																																									
	・ D-2																																																																																															
・ M4D1	・ D1-1		改修標準仕様書3.3.2(9)	77kPa以上の製造所の仕様	※ 77kPa以上の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない																																																																																									
	・ M3D1	・ D1-2																																																																																														
	・ M4D1							(厚さ)(mm)																																																																																								

項目	特記事項																																																																										
改質アスファルトルーフィングシート防水	<p>改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上</p> <p>絶縁断熱工法のルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示による</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定 ・ 設置数量 ※ アスファルトルーフィング製の製造所の指定 ・ (個)</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ PIE</td> <td>・ E-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ P2E</td> <td>・ E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 ・ 設ける (※ 図示による) ・ 設けない</p> <p>E-1の行程3を行う部位 ※ 貯水槽、浴室等常時水に接する部位</p> <p>屋上排水溝 ※ 図示による</p> <p>新設防水層の種類 [3.2.5][3.4.2][3.4.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th> <th>新設種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材</th> <th>仕上塗料</th> <th>使用量</th> <th>高日射反射率防水</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・ M4AS</td> <td>・ AS-T1</td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">改質アスファルト製造所の仕様</td> <td rowspan="3">改質アスファルト製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・ 適用する</td> <td rowspan="3">・</td> </tr> <tr> <td>・ AS-T2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-J2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ M3AS</td> <td>・ AS-T3</td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">改質アスファルト製造所の仕様</td> <td rowspan="3">改質アスファルト製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・ 適用する</td> <td rowspan="3">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ AS-T4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-J1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ POAS</td> <td>・ AS-T3</td> <td></td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3">改質アスファルト製造所の仕様</td> <td rowspan="3">改質アスファルト製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・ 適用する</td> <td rowspan="3">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ AS-T4</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AS-J1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ M3AS1</td> <td>・ AS1-T1</td> <td></td> <td rowspan="3">改質標準仕様書3.4.2(3)(ウ)(種類)</td> <td rowspan="3">改質アスファルト製造所の仕様</td> <td rowspan="3">改質アスファルト製造所の仕様</td> <td rowspan="3">・ 適用する</td> <td rowspan="3">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない 防湿層 ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ M4AS1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ POAS1</td> <td>・ AS1-J1</td> <td></td> <td>(厚さ)(mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上</p> <p>粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 材料構成による区分 ※ R種 厚さ ()mm以上</p> <p>立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 ・ アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度 ・</p> <p>屋根露出防水断熱工法の断熱材の種類及び厚さ 種類 () 厚さ ()</p> <p>絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ 設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ (個)</p> <p>絶縁断熱工法の防湿シート ・ 設置する ・ 設置しない</p>	工法	種別	施工箇所	・ PIE	・ E-1		・ P2E	・ E-2		改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	使用量	高日射反射率防水	備考	・ M4AS	・ AS-T1			改質アスファルト製造所の仕様	改質アスファルト製造所の仕様	・ 適用する	・	・ AS-T2			・ AS-J2			・ M3AS	・ AS-T3			改質アスファルト製造所の仕様	改質アスファルト製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	・ AS-T4			・ AS-J1			・ POAS	・ AS-T3			改質アスファルト製造所の仕様	改質アスファルト製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	・ AS-T4			・ AS-J1			・ M3AS1	・ AS1-T1		改質標準仕様書3.4.2(3)(ウ)(種類)	改質アスファルト製造所の仕様	改質アスファルト製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない 防湿層 ・ 設けない	・ M4AS1			・ POAS1	・ AS1-J1		(厚さ)(mm)
工法	種別	施工箇所																																																																									
・ PIE	・ E-1																																																																										
・ P2E	・ E-2																																																																										
改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	使用量	高日射反射率防水	備考																																																																				
・ M4AS	・ AS-T1			改質アスファルト製造所の仕様	改質アスファルト製造所の仕様	・ 適用する	・																																																																				
	・ AS-T2																																																																										
	・ AS-J2																																																																										
・ M3AS	・ AS-T3			改質アスファルト製造所の仕様	改質アスファルト製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない																																																																				
	・ AS-T4																																																																										
	・ AS-J1																																																																										
・ POAS	・ AS-T3			改質アスファルト製造所の仕様	改質アスファルト製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない																																																																				
	・ AS-T4																																																																										
	・ AS-J1																																																																										
・ M3AS1	・ AS1-T1		改質標準仕様書3.4.2(3)(ウ)(種類)	改質アスファルト製造所の仕様	改質アスファルト製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない 防湿層 ・ 設けない																																																																				
	・ M4AS1																																																																										
	・ POAS1	・ AS1-J1							(厚さ)(mm)																																																																		

項目	特記事項																																																																																																																																																				
合成高分子系ルーフィングシート防水	<p>新設防水層の種類 [3.2.5][3.5.2～3.5.4]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ POS</td> <td rowspan="2">・ S-F1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ 適用する</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ SAS</td> <td rowspan="2">・ S-F2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ 適用する</td> <td rowspan="2">・ 設けない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ S-M1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ 適用する</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ S-M2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ 適用する</td> <td rowspan="2">・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ S3S</td> <td rowspan="2">・ S-F1</td> <td rowspan="2">・ プレキャストコンクリート下地</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ 適用する</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ S-F2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ M4S</td> <td rowspan="2">・ S-M1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ 適用する</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ S-M2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ POS1</td> <td rowspan="2">・ S1-F1</td> <td rowspan="2">・ プレキャストコンクリート下地</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)(種類)</td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ S1-F2</td> <td>(厚さ)(mm)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ S3S1</td> <td rowspan="2">・ S1-F2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">(厚さ)(mm)</td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ 適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ M4S1</td> <td rowspan="2">・ S1-M1</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(a)(種類)</td> <td rowspan="2">ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ ルーフィングシートの製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ 適用する</td> </tr> <tr> <td>・ S1-M2</td> <td>(厚さ)(mm)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様 ※ 非歩行仕様 ・ 軽歩行仕様 S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム ・ 設置する ・ 設置しない</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル厚</th> <th>立上り部の保護モルタル厚</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ S-C1</td> <td></td> <td></td> <td>※ 7mm以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による ・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ 種類 厚さ mm以上</p> <p>絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 ※ 発泡ポリエチレンシート ・</p> <p>固定金具の材質及び寸法形状 ※ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの ・</p> <p>接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ (個) 設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ (個)</p> <p>接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理 ・ 行う (図示による) ・ 行わない</p> <p>プレキャストコンクリート部材の隅部増張り(種別S-F1、S1-F1の場合) ・ 行う (図示による) ・ 行わない</p> <p>機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による</p> <p>新設防水層(ウレタンゴム系塗膜防水)の種類 [3.2.5][3.6.2][3.6.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">改修工法</th> <th rowspan="2">新設種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・ POX</td> <td rowspan="4">・ X-1</td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4"></td> <td rowspan="4">主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="4">※ 主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="4">・ 適用する</td> <td rowspan="4">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ X-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ X-1H</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ X-2H</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ L4X</td> <td rowspan="2">・ X-1</td> <td rowspan="2">小底</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">※ 主材料の製造所の仕様</td> <td rowspan="2">・ 適用する</td> <td rowspan="2">脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない</td> </tr> <tr> <td>・ X-2</td> <td>渡り廊下床</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ 主材料の製造所の仕様 ・ 設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 ・ (個)</p>	改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・ POS	・ S-F1			ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない			・ SAS	・ S-F2			ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	・ 設けない			・ S-M1				ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	・			・ S-M2				ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	・			・ S3S	・ S-F1	・ プレキャストコンクリート下地		ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	・ S-F2			・ M4S	・ S-M1			ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	・ S-M2			・ POS1	・ S1-F1	・ プレキャストコンクリート下地		改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)(種類)	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	・ S1-F2	(厚さ)(mm)		・ S3S1	・ S1-F2			(厚さ)(mm)	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する			・ M4S1	・ S1-M1			改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(a)(種類)	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	・ S1-M2	(厚さ)(mm)		種別	施工箇所	保護層		平場のモルタル厚	立上り部の保護モルタル厚	・ S-C1			※ 7mm以下	改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水	備考	種類	使用量	・ POX	・ X-1			主材料の製造所の仕様	※ 主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	・ X-2		・ X-1H		・ X-2H		○ L4X	・ X-1	小底		主材料の製造所の仕様	※ 主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない	・ X-2	渡り廊下床	
改修工法	新設種別					施工箇所	断熱材			仕上塗料										高日射反射率防水	備考																																																																																																																																
		種類	使用量																																																																																																																																																		
・ POS	・ S-F1			ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない																																																																																																																																														
・ SAS	・ S-F2			ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	・ 設けない																																																																																																																																														
・ S-M1				ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	・																																																																																																																																														
・ S-M2				ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	・																																																																																																																																														
・ S3S	・ S-F1	・ プレキャストコンクリート下地		ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない																																																																																																																																														
								・ S-F2																																																																																																																																													
・ M4S	・ S-M1			ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない																																																																																																																																														
								・ S-M2																																																																																																																																													
・ POS1	・ S1-F1	・ プレキャストコンクリート下地		改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(b)(種類)	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない																																																																																																																																														
								・ S1-F2	(厚さ)(mm)																																																																																																																																												
・ S3S1	・ S1-F2			(厚さ)(mm)	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する																																																																																																																																														
・ M4S1	・ S1-M1			改修標準仕様書3.5.2(3)(エ)(a)(種類)	ルーフィングシートの製造所の仕様	※ ルーフィングシートの製造所の仕様	・ 適用する																																																																																																																																														
								・ S1-M2	(厚さ)(mm)																																																																																																																																												
種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																			
		平場のモルタル厚	立上り部の保護モルタル厚																																																																																																																																																		
・ S-C1			※ 7mm以下																																																																																																																																																		
改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料		高日射反射率防水	備考																																																																																																																																															
			種類	使用量																																																																																																																																																	
・ POX	・ X-1			主材料の製造所の仕様	※ 主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない																																																																																																																																														
								・ X-2																																																																																																																																													
								・ X-1H																																																																																																																																													
								・ X-2H																																																																																																																																													
○ L4X	・ X-1	小底		主材料の製造所の仕様	※ 主材料の製造所の仕様	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける 改修用ドレン ・ 設けない																																																																																																																																														
								・ X-2	渡り廊下床																																																																																																																																												

項目	特記事項																																										
新設防水層(ゴムアスファルト系塗膜防水)の種類	<p>新設防水層(ゴムアスファルト系塗膜防水)の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改修工法</th> <th>新設種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工程数及び各工程の使用量</th> <th>保護層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ PIY</td> <td rowspan="2">※ Y-2</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2">・</td> <td rowspan="2">保護モルタル 保護コンクリート 厚さ(mm)</td> </tr> <tr> <td>※ Y-2</td> <td>※ 主材料の製造所の仕様による</td> <td>保護モルタル 保護コンクリート 厚さ(mm)</td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2、3][3.7.7、8] ・ シーリング充填工法 ○ シーリング再充填工法 ・ 拡張シーリング再充填工法 ・ プリッジ工法 ポンドブレーカー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外部建具廻り</td> <td>変成シリコン (MS-2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>仕上げを行わない施工箇所 ・ 図示による</p> <p>シーリング材の目地寸法 ○ 図示による</p> <p>接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ ひも状接着性試験</p> <p>といその他の材種 [3.8.2][3.8.3] ・ 配管用鋼管 ○ 種別強化ビニール管 ・ 表面処理鋼板(規格番号) (表面及び裏面の塗膜の種類)</p> <p>とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔 ※改修標準仕様書3.8.2による ○ 図示による</p> <p>多管地域 ・ 適用する ・ 適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆</p> <p>既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ・ 図示による ○ 改修標準仕様書3.1.3(5)(ア)～(ウ)による</p> <p>鋼管製といの防露巻き ※改修標準仕様書3.8.4による ・</p> <p>ルーフトレンドリ種類及び呼び</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>呼び</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ろく屋根用たて形I型</td> <td>・ ねじ込み式</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・ ろく屋根用横形I型</td> <td>・ ねじ込み式</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ バルコニー中継用</td> <td>・ ねじ込み式</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 差し込み式</td> <td>図示による</td> </tr> <tr> <td>・ バルコニー用</td> <td>・ ねじ込み式</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 差し込み式</td> <td>図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>たてどい受金物の取付け ※ 図示による ルーフトレンドリ取付け ※ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にもルタルを充填する ・</p> <p>アルミニウム製 笠木 種類 [3.9.2][3.9.3] ・ 押出形材形 (押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形) ・ 板材折曲げ形 (オーブ形式 ・ シール形式) 本体幅 ()mm 板厚 (※ 2.0mm ・ mm)</p> <p>表面処理 種別 ()種 色合等 標準色 () ・ 特注色 ()</p> <p>既存笠木等の撤去 ・ 行う(範囲・図示による) ・ 行わない</p> <p>下地補修の工法 ※ 図示による</p> <p>板材折曲げ形の笠木の取付け方法 ※ 図示による</p> <p>笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による</p> <p>工事名称 福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事</p> <p>図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-2</p> <p>縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%</p> <p>図面No 2 16</p> <p>福山市建設局建築部営繕課</p>	改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層	・ PIY	※ Y-2		・	保護モルタル 保護コンクリート 厚さ(mm)	※ Y-2	※ 主材料の製造所の仕様による	保護モルタル 保護コンクリート 厚さ(mm)	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	外部建具廻り	変成シリコン (MS-2)					種別	呼び	施工箇所	・ ろく屋根用たて形I型	・ ねじ込み式	図示による	・ ろく屋根用横形I型	・ ねじ込み式	・	・ バルコニー中継用	・ ねじ込み式	・		・ 差し込み式	図示による	・ バルコニー用	・ ねじ込み式	・		・ 差し込み式	図示による
改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層																																							
・ PIY	※ Y-2		・	保護モルタル 保護コンクリート 厚さ(mm)																																							
					※ Y-2	※ 主材料の製造所の仕様による	保護モルタル 保護コンクリート 厚さ(mm)																																				
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																										
外部建具廻り	変成シリコン (MS-2)																																										
種別	呼び	施工箇所																																									
・ ろく屋根用たて形I型	・ ねじ込み式	図示による																																									
・ ろく屋根用横形I型	・ ねじ込み式	・																																									
・ バルコニー中継用	・ ねじ込み式	・																																									
	・ 差し込み式	図示による																																									
・ バルコニー用	・ ねじ込み式	・																																									
	・ 差し込み式	図示による																																									

章	項目	特記事項
4-①	○ 施工数量調査	調査範囲 [1. 6. 2][1. 6. 3] ○ 外壁改修範囲 ○ 図示による 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び 錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の 形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びひびはくはく部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひびはく部を壁面に 表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示による 調査報告書の部数 (○ 1部)
	○ 欠損部改修工法	○ 充填工法 [4. 1. 4][4. 1. 4, 7] ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

章	項目	特記事項
4-①	○ ひび割れ部改修工法	○ 樹脂注入工法 [4. 1. 4][4. 2. 5~7] 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 ※ 200~300 130 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 50~100 40 注入工法 0.3以上~0.5未満 100~200 70 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0未満 150~250 130 注入工法 注入状況の確認方法 ※ コアの採取を行う ○ 打診検査を行う 採取部数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ 採取部数の補修方法 ※ 図示による ○ リカットシール材充填工法 ○ シーリング材 充填材の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ○ 行う ・ 行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書3章 防水改修工事による。 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂
	○ 欠損部改修工法	○ 充填工法 [4. 1. 4][4. 1. 4, 7] ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

章	項目	特記事項
4-②	○ ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法 [4. 1. 4][4. 3. 5~8] 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量 (mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上~1.0未満 ※ 200~300 130 ・ 手動式エポキシ樹脂 0.2以上~0.3未満 50~100 40 注入工法 0.3以上~0.5未満 100~200 70 ・ 機械式エポキシ樹脂 0.5以上~1.0未満 150~250 130 注入工法 注入状況の確認方法 ※ コアの採取を行う 採取部数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ 採取部数の補修方法 ※ 図示による ○ リカットシール材充填工法 ○ シーリング材 充填材の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ○ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂
	○ 欠損部改修工法	○ 充填工法 [4. 1. 4][4. 3. 5][4. 3. 9, 10] ・ エポキシ樹脂モルタル ○ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 ・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8.2 コンクリート工事による) ・ 既調査材料 () 既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示による) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示による

章	項目	特記事項
○	○ 浮き部改修工法	[4. 1. 4][4. 3. 5][4. 3. 11, 16] 工法の種類 アーカーピンの本数 (本/m) 注入口の箇所数 (箇所/m) 注入量 (mL/箇所) ○ アンカーピンニング ※ 16 ※ 25 - - ※ 25 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 - - ※ 25 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 - - - - ・ モルタル塗替え工法 - - - - アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度 注入工法用材料 ・ ポリマーセメントスラリー 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) (%) 引張接着性 (材齢28日) (N/mm2) 曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2) 吸水性 (72時間) (%) 耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm2) 3以上 3以上 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35~0.55 粘着係数 0.50~1.00 充填工法用材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 ・ 現場調査材料 (セメントは改修特記仕様書8.2 コンクリート工事による) ・ 既調査材料 () 既製目地材 ・ 使用する (形状 ・ 図示による) 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示による 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、 建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。
	○ 外壁複合改修工法	4-3 ○ タイルの形状、寸法等 [4. 4. 5][4. 4. 8] 形状/寸法 再生材料の 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐凍害性耐汚 備考 施工箇所 (mm) 適用 I類 II類 III類 施す方無ゆう有 無 標準特注 有 無 り性 見本焼き ・ 行う (施工箇所:) ・ 行わない 試験張り ・ 行う (範囲、仕様等は図示による) ・ 行わない

章	項目	特記事項
○	○ 目地改修工法	・ 目地ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4][4. 4. 16] ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・ 図示による
	○ 外壁複合改修工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修工法の開発」において、 建設省大臣の技術評価を取得した工法とする。

章	項目	特記事項
○	○ 欠損部改修工法	・ タイル部分張替え工法 [4. 4. 5][4. 4. 8] 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系 ・ タイル張替え工法 張替え用材料 ・ 接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系 ・ 張付けモルタル (・ 現場調査材料 ・ 既調査モルタル) 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 改修標準仕様書表4.4.2による ・ 図示による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着剤試験 ・ 行う ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り 下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法 (改修標準仕様書4.3.10 (3) による) タイル張りの工法 ・ 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り モルタル塗りをを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法 (改修標準仕様書4.3.10 (3) による) シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系 ・ 目地詰め (※ 行う ・ 行わない)
	○ 下地調整塗材	※ 下地調整塗材 [4. 5. 2] ○ ポリマーセメントモルタル

章	項目	特記事項
○	○ 浮き部改修工法	[4. 1. 4][4. 4. 5, 9~15] 工法の種類 アーカーピンの本数 (本/m) 注入口の箇所数 (箇所/m) 注入量 (mL/箇所) ・ アンカーピンニング ※ 16 ※ 25 - - ※ 25 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 25 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング ※ 13 ※ 20 ※ 12 ※ 20 ※ 50 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 - - ※ 25 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 50 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ※ 9 ※ 16 ※ 9 ※ 16 ※ 25 エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 - - - - ・ タイル張替え工法 - - - -
	○ 目地改修工法	・ 目地ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4][4. 4. 16] ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・ 図示による

章	項目	特記事項
○	○ 既存塗膜等の除去	[4. 5. 4] 下地処理及び下地調整 ・ サンダー工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 高圧水洗工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 塗膜はく離工法 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ○ 水洗い工法 ※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全面 ・ 図示による
	○ 仕上塗材仕上げ	新規仕上塗材の種類 [4. 1. 5][4. 5. 2] ○ 薄付け仕上塗材 種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 防火材料 ○ 外装薄塗材E 砂壁状 吹付 ・ 厚付け仕上塗材 (外装厚塗材C) 種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗り 防火材料 ・ ※ セメントスタッコ ・ 厚付け仕上塗材 (外装厚塗材S、外装厚塗材E) 種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗り 防火材料 ・ 適用する ・ 適用する

章	項目	特記事項
○	○ 復層仕上塗材	種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗材の種類 耐候性 防火材料 ・ 樹脂 ※ アクリル系 ※ 耐候形 3種 ・ 外観 ※ つやあり ※ メタリック ・ 溶媒 ※ 水系
	○ 復層塗材E	ゆず肌 ローラー ・ 可とう形改修用仕上塗材 種類 (呼び名) 仕上げの形状 工法 上塗材の種類 耐候性 防火材料 ・ 樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・ 耐候形 3種

章	項目	特記事項
5	○ 外壁用塗膜防水材塗り	仕上げの形状 [4. 1. 5][4. 7. 2, 3] 工法 仕上げ塗材の耐候性 ・ 適用する ・ 適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (コンクリート打ち直し仕上げ外壁改修) による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による。 吹付け工法の仕様材の種類 ・ 行う (・ 所要量 (kg/m ²) 外壁用仕上塗料の種類 ・ 行う (・ 所要量 (kg/m ²)
	該当工事無しのため記載を省略	

章	項目	特記事項
6	○ 内装改修工事	該当工事無しのため記載を省略
	○ 内装改修工事	該当工事無しのため記載を省略

工事名称
福山市立泉小中学校中棟校舎外壁改修工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-3

縮尺率 図面No
A1=100%
A2= 71%
A3= 50%

3 / 16

⑦ 建築改修工事	○ 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ F☆☆☆☆ 防火材料 ※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:) 																																																																												
	○ 下地調整	<p>塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1]</p> <p>○ 図示による</p> <p>[7.2.3~7.2.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類</th> <th>塗替え</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面</td> <td>※ R種</td> <td>-</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)</td> <td>・ RA種 ・ RB種</td> <td>-</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※ RB種</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修	木部	※ R種	-	-	鉄鋼面	※ R種	-	-	亜鉛めっき鋼面	※ R種	-	-	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※ R種	-	-	モルタル、プaster面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない	押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種	-	・ 行う ・ 行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	※ RB種	-	-																																								
	下地面の種類	下地調整の種類	塗替え	ひび割れ部の補修																																																																										
	木部	※ R種	-	-																																																																										
	鉄鋼面	※ R種	-	-																																																																										
	亜鉛めっき鋼面	※ R種	-	-																																																																										
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	※ R種	-	-																																																																										
	モルタル、プaster面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない																																																																										
	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R種	-	・ 行う ・ 行わない																																																																										
	押出成形セメント板面、コンクリート面 (DP)	・ RA種 ・ RB種	-	・ 行う ・ 行わない																																																																										
せっこうボード面及びその他ボード面	※ RB種	-	-																																																																											
素地ごしらえ	<p>[7.3.2~7.3.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面等</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP以外)</td> <td>※ C種 ・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面 (DP)</td> <td>※ B種 ・ A種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプaster面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table>	下地面等	種類	木部	不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種	鉄鋼面 (DP以外)	※ C種 ・ A種 ・ B種	鉄鋼面 (DP)	※ B種 ・ A種 ・ C種	亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種	モルタル面及びプaster面	※ B種 ・ A種	コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※ B種 ・ A種	押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	※ B種 ・ A種	せっこうボード面及びその他ボード面	※ B種 ・ A種																																																											
下地面等	種類																																																																													
木部	不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 透明塗料塗りの場合 ※ B種 ・ A種																																																																													
鉄鋼面 (DP以外)	※ C種 ・ A種 ・ B種																																																																													
鉄鋼面 (DP)	※ B種 ・ A種 ・ C種																																																																													
亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種																																																																													
モルタル面及びプaster面	※ B種 ・ A種																																																																													
コンクリート面 (DP以外) 及びALCパネル面	※ B種 ・ A種																																																																													
押出成形セメント板面及びコンクリート面 (DP)	※ B種 ・ A種																																																																													
せっこうボード面及びその他ボード面	※ B種 ・ A種																																																																													
○ 錆止め塗料塗り	<p>錆止め塗料塗りの種別 [7.4.2~7.4.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>素地面</th> <th>塗装の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>As種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td>錆止め塗装のまま (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>新規見え掛り</td> <td>As種 ※ A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規見え隠れ</td> <td>As種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>※ Bs種 ・ As種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規見え掛り</td> <td>※ Bs種 ・ As種 ※ A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規見え隠れ</td> <td>※ Bs種 ・ As種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">DP (工程の種類は表7.4.4)</td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種) (b)による。</td> <td>・ C種 (下地調整R種)</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(イ) (a)による。</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">亜鉛めっき鋼面</td> <td>SOP</td> <td>塗替え</td> <td>※ A2種 ・ B2種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製建具等</td> <td>※ B2種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td>規</td> <td>その他</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>塗替え</td> <td>C種 ※ C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製建具等</td> <td>C種 ※ A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>規</td> <td>その他</td> <td>C種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>塗替え</td> <td>B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規</td> <td>B2種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	SOP	塗替え	As種 ※ C種	錆止め塗装のまま (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	As種 ※ A種		新規見え隠れ	As種 ※ B種	EP-G	塗替え	※ Bs種 ・ As種 ※ C種		新規見え掛り	※ Bs種 ・ As種 ※ A種		新規見え隠れ	※ Bs種 ・ As種 ※ B種	DP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種) (b)による。	・ C種 (下地調整R種)	新規	7.4.2(1)(イ) (a)による。	・ A種				亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え	※ A2種 ・ B2種 ※ C種		鋼製建具等	※ B2種 ※ B種		その他	※ A種	規	その他	※ B種	EP-G	塗替え	C種 ※ C種		鋼製建具等	C種 ※ A種		規	その他	C種 ※ B種	DP	塗替え	B種	-		新規	B2種	-													
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																											
鉄鋼面	SOP	塗替え	As種 ※ C種																																																																											
	錆止め塗装のまま (工程の種類は表7.4.3)	新規見え掛り	As種 ※ A種																																																																											
		新規見え隠れ	As種 ※ B種																																																																											
	EP-G	塗替え	※ Bs種 ・ As種 ※ C種																																																																											
		新規見え掛り	※ Bs種 ・ As種 ※ A種																																																																											
		新規見え隠れ	※ Bs種 ・ As種 ※ B種																																																																											
DP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(イ) ・ B種 (下地調整R種) (b)による。	・ C種 (下地調整R種)																																																																											
	新規	7.4.2(1)(イ) (a)による。	・ A種																																																																											
亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え	※ A2種 ・ B2種 ※ C種																																																																											
		鋼製建具等	※ B2種 ※ B種																																																																											
		その他	※ A種																																																																											
	規	その他	※ B種																																																																											
	EP-G	塗替え	C種 ※ C種																																																																											
		鋼製建具等	C種 ※ A種																																																																											
	規	その他	C種 ※ B種																																																																											
DP	塗替え	B種	-																																																																											
	新規	B2種	-																																																																											
○ 塗装	<p>[7.5.2~7.13.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装の種類</th> <th>塗装面</th> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂塗膜ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗装の種類 ※ 1種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>・ 2種</td> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ クリヤラッカー塗り (CL)</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ A種 (着色塗料の種類:)</td> <td>・ A種 (着色塗料の種類:)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 耐候性塗料塗り (DP)</td> <td>上塗り等級 (3) 級</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上塗り等級 () 級</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>-</td> <td>・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>・ B種 ・ C種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>・ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>屋内の亜鉛めっき鋼面</td> <td>※ B種</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>・ ビグメントステイン塗り</td> <td></td> <td>※ B種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td></td> <td>※ B種 ・ A種</td> <td>※ B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、モルタル面、プaster面、せっこうボード面、その他ボード面) の塗替えのしめ止め</p> <p>※ 改修標準仕様書表 7.9.1 の工程 1 の下塗りをしめ止めシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えのしめ止め</p> <p>※ 改修標準仕様書表 7.10.1 の工程 1 の下塗りをしめ止めシーラーとする</p> <p>クリヤラッカー塗り A種の工程 2 の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用しない ・ 適用する (着色剤: ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤) <p>ウレタン樹脂ワニス塗りの工程 1 の適用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適用する ・ 適用しない 	塗装の種類	塗装面	塗替え	新規	・ 合成樹脂塗膜ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※ B種	※ A種	木部屋内	※ B種	※ B種	塗装の種類 ※ 1種	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ A種	※ B種	・ 2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種	・ クリヤラッカー塗り (CL)		※ B種	※ B種		・ A種 (着色塗料の種類:)	・ A種 (着色塗料の種類:)	・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種	鉄鋼面	-	-	○ 耐候性塗料塗り (DP)	上塗り等級 (3) 級	-	-	亜鉛めっき鋼面	-	-		上塗り等級 () 級	-	-		コンクリート面及び押出成形セメント板面	-	・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種	・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種	屋内の木部	※ B種	※ A種	・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種	屋内の亜鉛めっき鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※ B種	※ A種 ・ B種	・ ビグメントステイン塗り		※ B種	※ B種 ・ A種	・ 木材保護塗料塗り (WP)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種
塗装の種類	塗装面	塗替え	新規																																																																											
・ 合成樹脂塗膜ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※ B種	※ A種																																																																											
	木部屋内	※ B種	※ B種																																																																											
塗装の種類 ※ 1種	鉄鋼面	※ B種	※ B種 ・ A種																																																																											
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ A種	※ B種																																																																											
・ 2種	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	※ B種	※ B種																																																																											
・ クリヤラッカー塗り (CL)		※ B種	※ B種																																																																											
		・ A種 (着色塗料の種類:)	・ A種 (着色塗料の種類:)																																																																											
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種																																																																											
	鉄鋼面	-	-																																																																											
○ 耐候性塗料塗り (DP)	上塗り等級 (3) 級	-	-																																																																											
	亜鉛めっき鋼面	-	-																																																																											
	上塗り等級 () 級	-	-																																																																											
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	-	・ A-1種 ・ B-1種 ・ C-1種																																																																											
・ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	・ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種																																																																											
	屋内の木部	※ B種	※ A種																																																																											
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	屋内の鉄鋼面	※ B種	・ A種 ・ B種																																																																											
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※ B種	※ A種 ・ B種																																																																											
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※ B種	※ A種 ・ B種																																																																											
・ ビグメントステイン塗り		※ B種	※ B種 ・ A種																																																																											
・ 木材保護塗料塗り (WP)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種																																																																											

8	特記事項	該当工事無しのため記載を省略																				
⑧ 建築改修工事	○ 石綿含有建材の除去工事	<p>[9.1.1]</p> <p>○ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事</p> <p>○ 図示による</p> <p>○ 石綿粉じん濃度測定 [9.1.1]</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 [9.1.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石綿含有吹付け材の除去 (石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む) 除去対象範囲 ・ 図示による 除去工法 ※ 改修標準仕様書 9.1.3 (2) (ア)による 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 圓形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) <p>石綿含有保温材等の除去 [9.1.4]</p> <p>除去対象範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>除去工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 原形のまま、手ばらし <p>除去した石綿含有保温材等の飛散防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 湿潤化 ・ 圓形化 <p>除去した石綿含有保温材等の処分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) <p>○ 石綿含有成形板等の除去 [9.1.5]</p> <p>除去対象範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による ○ [対象箇所: 渡り廊下 (北側)、渡り廊下 (南側) 既設EXP-J部シーリング] 隔離養生 (負圧不要) 方法 ・ 図示による <p>足場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>除去した石綿含有成形板等の処分 [9.1.5]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) <p>○ 石綿含有仕上塗材の除去 [9.1.6]</p> <p>除去対象範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 図示による <p>除去工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ① 高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行う。 ② 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤化した状態で行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を使用する電動工具を使用するなど粉じんの発散を防止する。 ③ 除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重で梱包する。 <p>養生方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 改修標準仕様書 9.1.6 (2)による <p>除去した石綿含有仕上塗材の処分</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設) ・ 汚泥としての処理 	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																
	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数																		
	○ 外断熱改修工事	<p>断熱材</p> <p>断熱材の種類</p> <p>断熱材の厚さ (mm)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>既存外壁の処置</p> <p>既存外壁仕上材の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あり ・ なし <p>下地の清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>欠損部の改修工法</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>不陸等の下地調整</p> <p>断熱材の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 断熱材製造所の仕様による <p>外装材の施工</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外装材製造所の仕様による <p>通気層の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あり (mm) ・ なし <p>外装材の外壁への取付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による 	種類	防火性能	備考																	
	種類	防火性能	備考																			

9	特記事項	断熱・防露改修工事												
⑨ 建築改修工事	断熱・防露改修工事	<p>[9.3.2]</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ (mm) フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ <p>[9.3.3]</p> <ul style="list-style-type: none"> 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・ A種 1 ・ A種 1 H 吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 断熱材後張り工法 [9.3.4] 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ (mm) 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質 厚さ (mm) フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 断熱材に直接ボードの張り付けを行う場合の張付け工法 () 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法 () <p>[9.4.2]</p> <p>材料</p> <p>芝及び地被類の種類等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>かん水装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置する (種類) <p>既存保護層の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>新植した芝及び地被類の枯損償の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 引渡しの日から 1年 <p>[9.5.2]</p> <p>透水性アスファルト舗装改修工事</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による <p>[9.5.3]</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>路床安定処理</p> <p>安定処理の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 <p>路床安定処理用添加材料</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) <p>試験</p> <p>路床土の支持力比 (CBR) 試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>路床締固め度の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>現場CBR試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>[9.5.4]</p> <p>路盤</p> <p>路盤の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>路盤材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ <p>舗装の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 著しい不陸がないもの <p>粗粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>[9.5.9]</p>	種別	材料	厚さ (mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示による	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示による	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による
	種別	材料	厚さ (mm)											
	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示による											
	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示による											
	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による											
	○ 舗装	<p>[9.4.2]</p> <p>芝及び地被類の種類等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>かん水装置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設置する (種類) <p>既存保護層の撤去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>新植した芝及び地被類の枯損償の期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 引渡しの日から 1年 <p>[9.5.2]</p> <p>透水性アスファルト舗装改修工事</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 図示による <p>[9.5.3]</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂</td> <td>・ 図示による</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>路床安定処理</p> <p>安定処理の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 <p>路床安定処理用添加材料</p> <p>種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) <p>試験</p> <p>路床土の支持力比 (CBR) 試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>路床締固め度の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>現場CBR試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>[9.5.4]</p> <p>路盤</p> <p>路盤の厚さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>路盤材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラッシュラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシュラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシュラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ <p>舗装の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図示による <p>舗装の平坦性</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 著しい不陸がないもの <p>粗粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う ・ 行わない <p>[9.5.9]</p>	種別	材料	厚さ (mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示による	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示による	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による
	種別	材料	厚さ (mm)											
	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示による											
	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 砂	・ 図示による											
	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示による											

工事名称
福山市立泉小中学校中棟校舎外壁塗装工事

図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-4

縮尺率 図面No
A1=100%
A2= 71%
A3= 50%

4 / 16

福山市建設局建築部営繕課

名称		A 表面劣化部処理				B ひび割れ部処理									
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理【サンダー工法】		A-2 モルタル面表面劣化部処理【サンダー工法】		B-1 打放し面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.2.5]		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm超 [4.2.6]		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.2.6]		B-4 モルタル面樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.3.6]		B-5 モルタル面樹脂部樹脂注入工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm [4.3.6]	
改修前	改修後														
工程		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面・部分） ②水洗い（15Mpa程度） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面・部分） ②水洗い（15Mpa程度） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①サンダーケレン ②水洗い（15Mpa程度） ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①ひび割れ部モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	
設計数量		中棟校舎：9.5㎡ 渡り廊下（北）：7.2㎡ 渡り廊下（南）：4.4㎡ 屋外便所：0.5㎡ 屋外受水槽：㎡ 体育倉庫：0.1㎡		中棟校舎：37.9㎡ 渡り廊下（北）：10.8㎡ 渡り廊下（南）：13.3㎡ 屋外便所：1.9㎡ 屋外受水槽：1.9㎡ 体育倉庫：㎡		設計数量：ひび割れ幅 0.2~0.5mm (0.0)m ひび割れ幅 0.5~1.0mm (0.0)m ()内は単動ひび割れ数を示す		設計数量 中棟校舎：9.9㎡ 渡り廊下（北）：7.5㎡ 渡り廊下（南）：4.6㎡ 屋外便所：0.5㎡ 屋外受水槽：㎡ 体育倉庫：3.1㎡		設計数量：0.0m		設計数量：ひび割れ幅 0.2~0.5mm (0.0)m ひび割れ幅 0.5~1.0mm (0.0)m ()内は単動ひび割れ数を示す		設計数量：0.0m	

名称		B ひび割れ部処理				C 鋼鉄筋部処理				D 浮き部処理					
記号・仕様		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm超		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2~1.0mm		C-1 打放し面鋼鉄筋部処理		C-2 モルタル面鋼鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり					
改修前	改修後														
工程		①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後付けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①鋼鉄筋周辺のはつり ②水洗い（15Mpa程度） ③水洗い（15Mpa程度） ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①カッター縁切り ②鋼落とし ③水洗い（15Mpa程度） ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③水洗い（15Mpa程度） ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）					
設計数量		中棟校舎：39.6㎡ 渡り廊下（北）：11.2㎡ 渡り廊下（南）：13.9㎡ 屋外便所：2㎡ 屋外受水槽：2㎡ 体育倉庫：㎡		設計数量：0.0m		設計数量 中棟校舎：13.4㎡ 渡り廊下（北）：10.2㎡ 渡り廊下（南）：6.3㎡ 屋外便所：0.7㎡ 屋外受水槽：㎡ 体育倉庫：4.2㎡		設計数量 中棟校舎：53.8㎡ 渡り廊下（北）：15.3㎡ 渡り廊下（南）：25.2㎡ 屋外便所：2.7㎡ 屋外受水槽：2.7㎡ 体育倉庫：㎡		設計数量 中棟校舎：4.1㎡ 渡り廊下（北）：0.8㎡ 渡り廊下（南）：1.3㎡ 屋外便所：0.2㎡ 屋外受水槽：0.1㎡ 体育倉庫：㎡					

名称		D 浮き部処理				D-2 浮き部処理				D-3 浮き部処理					
記号・仕様		D-2' モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.3.11]		D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.4.9]		D-3' モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.3.12]		D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.4.10]							
改修前	改修後														
工程		①穿孔 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ③エポキシ樹脂注入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所		⑤穿孔跡埋戻し【エポキシパテ】 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦水洗い（15Mpa程度） ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		③狭幅部（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）		①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し【球状樹脂】 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所		⑥注入口穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し【球状樹脂】 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い（15Mpa程度） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		③狭幅部（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）		①アンカーピン固定部 ②注入口	
設計数量		【タイル面】①一般部分：61.2㎡ ②指定部分：23.7㎡ ③狭幅部：58.2㎡ 【タイル面】①一般部分：23.1㎡ ②指定部分：9㎡ ③狭幅部：22㎡ 渡り廊下（北）【タイル面】①一般部分：22.9㎡ ②指定部分：8.9㎡ ③狭幅部：21.8㎡ 渡り廊下（南）【タイル面】①一般部分：3.1㎡ ②指定部分：1.2㎡ ③狭幅部：2.9㎡ 屋外受水槽【タイル面】①一般部分：2.4㎡ ②指定部分：0.9㎡ ③狭幅部：2.3㎡ 体育倉庫【タイル面】①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③狭幅部：㎡ 屋外倉庫【タイル面】①一般部分：㎡ ②指定部分：㎡ ③狭幅部：㎡		※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 ※D-2'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。		※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。		※D-3'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。		※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。		設計数量：①一般部分：0.0㎡ ②指定部分：0.0㎡ ③狭幅部：0.0m		設計数量：①一般部分：0.0㎡ ②指定部分：0.0㎡ ③狭幅部：0.0m	

名称		D 浮き部処理				D-4 浮き部処理				D-5 浮き部処理					
記号・仕様		D-4' モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.3.13]		D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.4.11]		D-5' モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.3.14]		D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [4.4.12]							
改修前	改修後														
工程		①ピン固定部穿孔 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ③球状樹脂注入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ④ステンレスピン挿入 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し【球状樹脂】 一般部 13ヶ所 指定部 20ヶ所		⑥注入口穿孔 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑧球状樹脂注入 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し【球状樹脂】 一般部 12ヶ所 指定部 20ヶ所 ⑩サンダーケレン ⑪水洗い（15Mpa程度） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		③狭幅部（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）		①穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所		⑤穿孔跡埋戻し【エポキシパテ】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦水洗い（15Mpa程度） ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）		③狭幅部（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）		①注入口付アンカーピン固定部	
設計数量		※D-4'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。		設計数量：①一般部分：0.0㎡ ②指定部分：0.0㎡ ③狭幅部：0.0m		設計数量：①一般部分：0.0㎡ ②指定部分：0.0㎡ ③狭幅部：0.0m		設計数量：①一般部分：0.0㎡ ②指定部分：0.0㎡ ③狭幅部：0.0m							

工事名称
福山市泉学校管理棟校舎外壁改修工事
 図面名称
建築改修工事特記仕様書 No-5
 縮尺率 図面No
 A1=100%
 A2=71%
 A3=50%
5
15

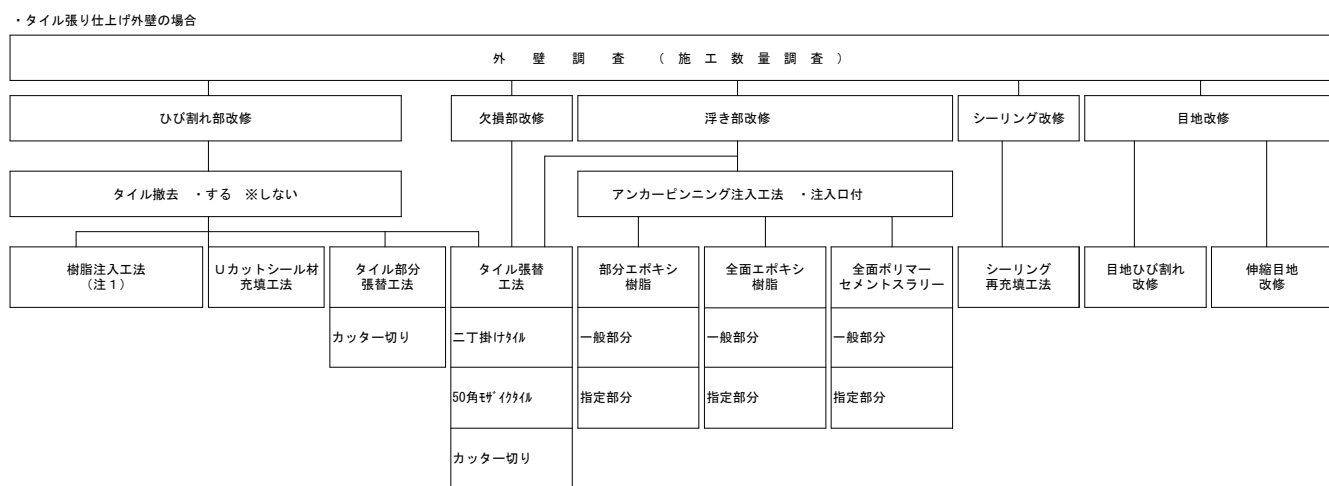
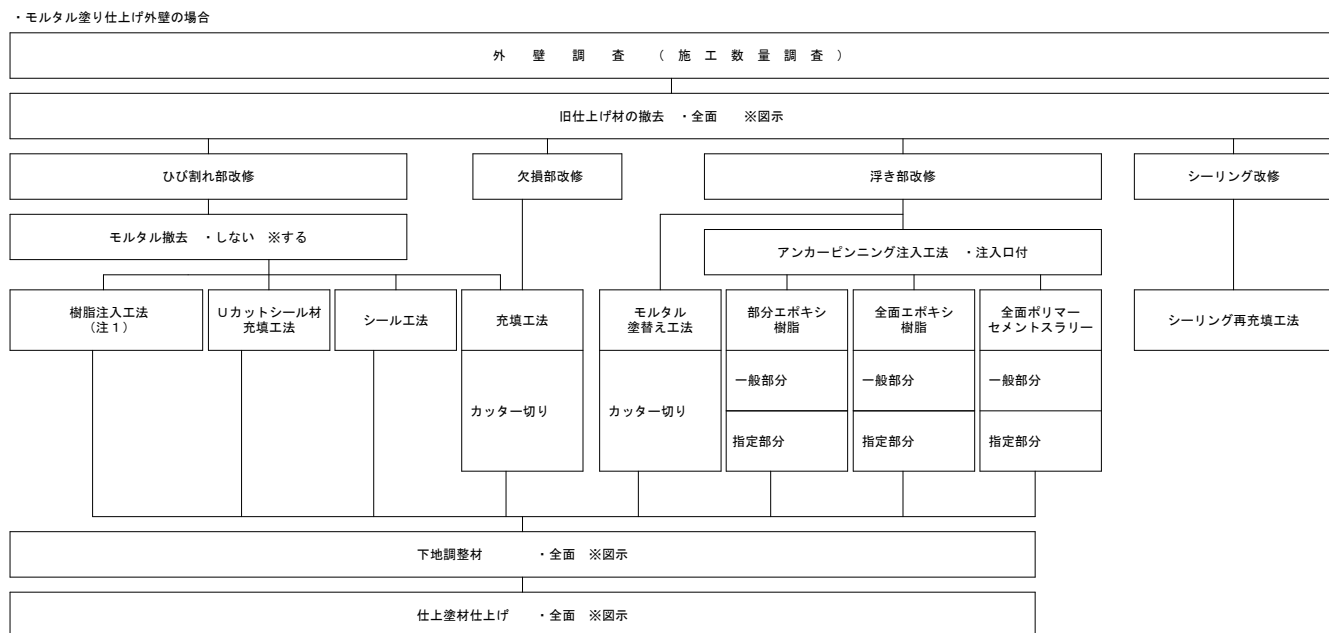
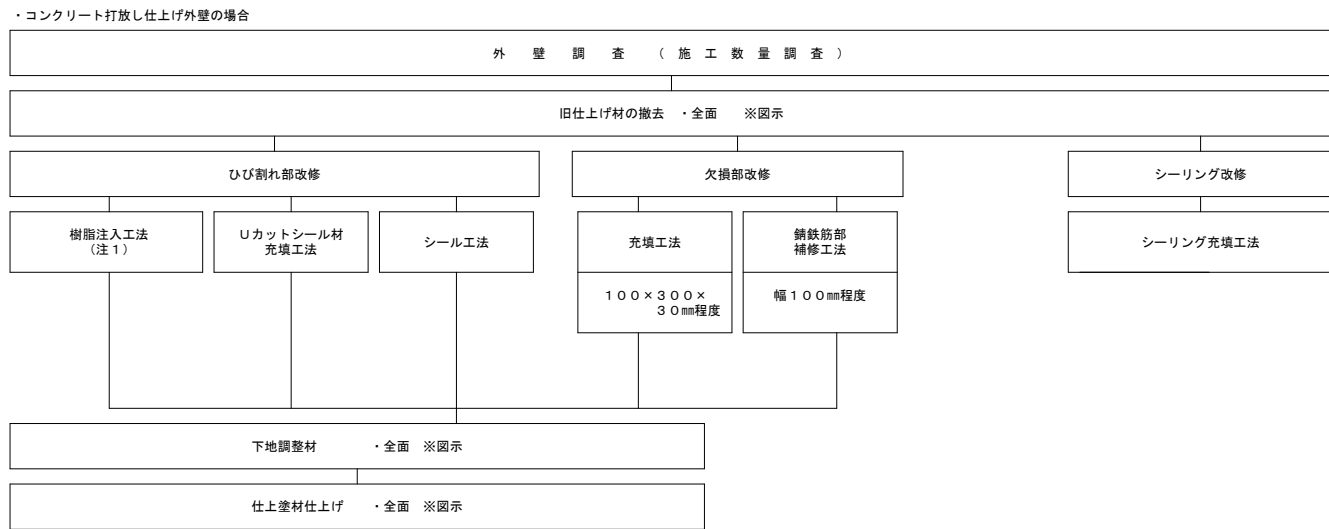
名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.3.15] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [4.4.13]	
改修前		
改修後		
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し【エポキシパテ】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し【エポキシパテ】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩サンダーケレン ⑪水洗い（15MPa程度） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p> <p>※D-6'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分： 0.0 m² ②指定部分： 0.0 m² ③破幅部： 0.0 m</p>	

名称	D 浮き部処理	
記号・仕様	D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.3.16] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [4.4.14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ	D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法（小口タイル以上） [4.4.15]
改修前		
改修後		
工程	<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>③ステンレスピン（注入口付）挿入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し【※'ワ-セトパテ'】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑨穿孔跡埋戻し【※'ワ-セトパテ'】 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>⑩サンダーケレン ⑪水洗い（15MPa程度） ⑫セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p> <p>※D-7'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。 ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む</p> <p>設計数量：①一般部分： 0.0 m² ②指定部分： 0.0 m² ③破幅部： 0.0 m</p>	

名称	E 欠損部処理		
記号・仕様	E-1 打放し面充填工法 [4.2.6]	E-2 打放し面欠損部処理 [4.2.3]	E-3 モルタル面欠損部処理 [4.3.3]
改修前			
改修後			
工程	<p>①欠損部はつり等での整形 ②水洗い（15MPa程度） ③欠損部はつり部埋戻し【※'ワ-セトパテ'・※'ワ-セトパテ'・※'ワ-セトパテ'】 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 校舎設計数量： 0.0 m² 渡り廊下設計数量： 1.1 m²</p> <p>①欠損部・錆跡周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③水洗い（15MPa程度） ④防錆処理 ⑤欠損部はつり部埋戻し【※'ワ-セトパテ'・※'ワ-セトパテ'】 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 設計数量 中棟校舎： 0.6 m² 渡り廊下（北）： 0.5 m² 渡り廊下（南）： 0.3 m² 屋外便所： 0.1 m² 屋外受水槽： m² 体育倉庫： 0.2 m²</p> <p>①カッター縁切り（C-3） ②欠損部はつり等での整形 ③水洗い（15MPa程度） ④欠損部はつり部埋戻し【※'ワ-セトパテ'・※'ワ-セトパテ'】 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）（鉄筋の露出部がある場合はE-2による）</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 設計数量 中棟校舎： 2.4 m² 渡り廊下（北）： 0.7 m² 渡り廊下（南）： 0.9 m² 屋外便所： 0.1 m² 屋外受水槽： 0.1 m² 体育倉庫： m²</p>		

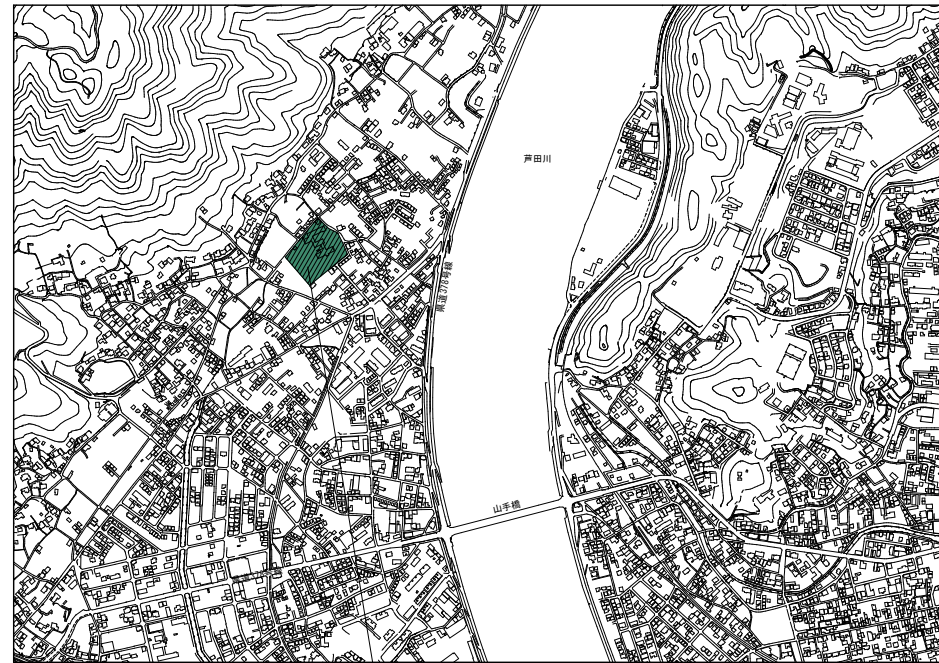
名称	F 外壁複合改修工法	
記号・仕様	F 外壁複合改修工法	
改修前		
改修後		
工程	<p>下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け（L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450） ⑦シーリング打設（MS-2）</p> <p>モルタル下地突出部がある場合は撤去し、水切り目地がある場合は穴埋めをすること。</p>	
設計数量	ネット張り	202 m ²
設計数量	水切	93.4 m
設計数量	ネット張り	32 m ²
設計数量	水切	20.5 m
設計数量	ネット張り	48.6 m ²
設計数量	水切	21.6 m

外壁改修フロー図



（注1）樹脂注入工法の工法の種類を示す

工事名称	福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事	
図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-6	尺度 S = No scale
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
	A1=100%	6
	A2=71%	
	A3=50%	15



福山市山手町七丁目13番63号

敷地案内図 NoScale

凡例

記号	内容
	工事範囲(改修建物)
	仮囲い: 成形鋼板 H=2000
	キャストゲート W=6000 H=1800
	工事車両進入路
	仮設足場
	児童・生徒出入口(足場部出入口養生)

施工条件

- ① 工事車両出入口及び機器・資材搬入口は東側出入口とする。
- ② 仮囲いに設ける工事車両出入口はキャストゲート程度とし、通行時以外は常時閉鎖する。
- ③ 施工者が必要と判断した場合には出入口前に鉄板・合板パネル等を敷いて養生する。
- ④ 既存施設を汚損させないよう養生等の対策を講ずること。既存部分を汚損した場合は速やかに監督員へ報告し、承諾を受けた後に復旧を行う。
- ⑤ 児童又は生徒の移動が集中する時間帯(登下校時等)は工事車両及び資材の搬出入を避ける。
- ⑥ 工事車両の通行部分は、工事中及び工事完成時に地均し復旧を行う。
- ⑦ 配置図に記載された仮設計画は、発注者の考え方を示したものである。実際の施工においては、事前に学校関係者及び監督員と協議を行うとともに詳細な現地調査・搬出入路等の検討を行い、より安全な施工に努める。
- ⑧ 仮設足場(先行足場、階段共)には、防護シートを張り埃等の飛散を防ぐ。
- ⑨ 工事関係者以外の者を工事エリアに侵入させないために、仮設足場1段目には金網等(H=1,800程度)を設置し、施錠付きの出入り口を設ける。
- ⑩ 昇降所等の建物出入口には、落下防止措置を講ずる。
- ⑪ 仮設足場解体後は、主任技術者が現地確認を行い、必要に応じて美装及び現状復旧を行う。
- ⑫ エアコンを使用できるように室外機を養生する。
- ⑬ 外部の水洗い時及び塗料等の臭気を伴う作業の際は、開口部を十分に目張りする。

工事範囲(改修建物)
 ・中棟校舎: 鉄筋コンクリート造4階建 延べ面積1,301㎡
 ・渡り廊下(北側): 鉄筋コンクリート造4階建 延べ面積173㎡
 ・渡り廊下(南側): 鉄筋コンクリート造3階建 延べ面積273㎡
 防水改修工事(塗膜防水、シーリング、とい)
 外壁改修工事
 塗装改修工事

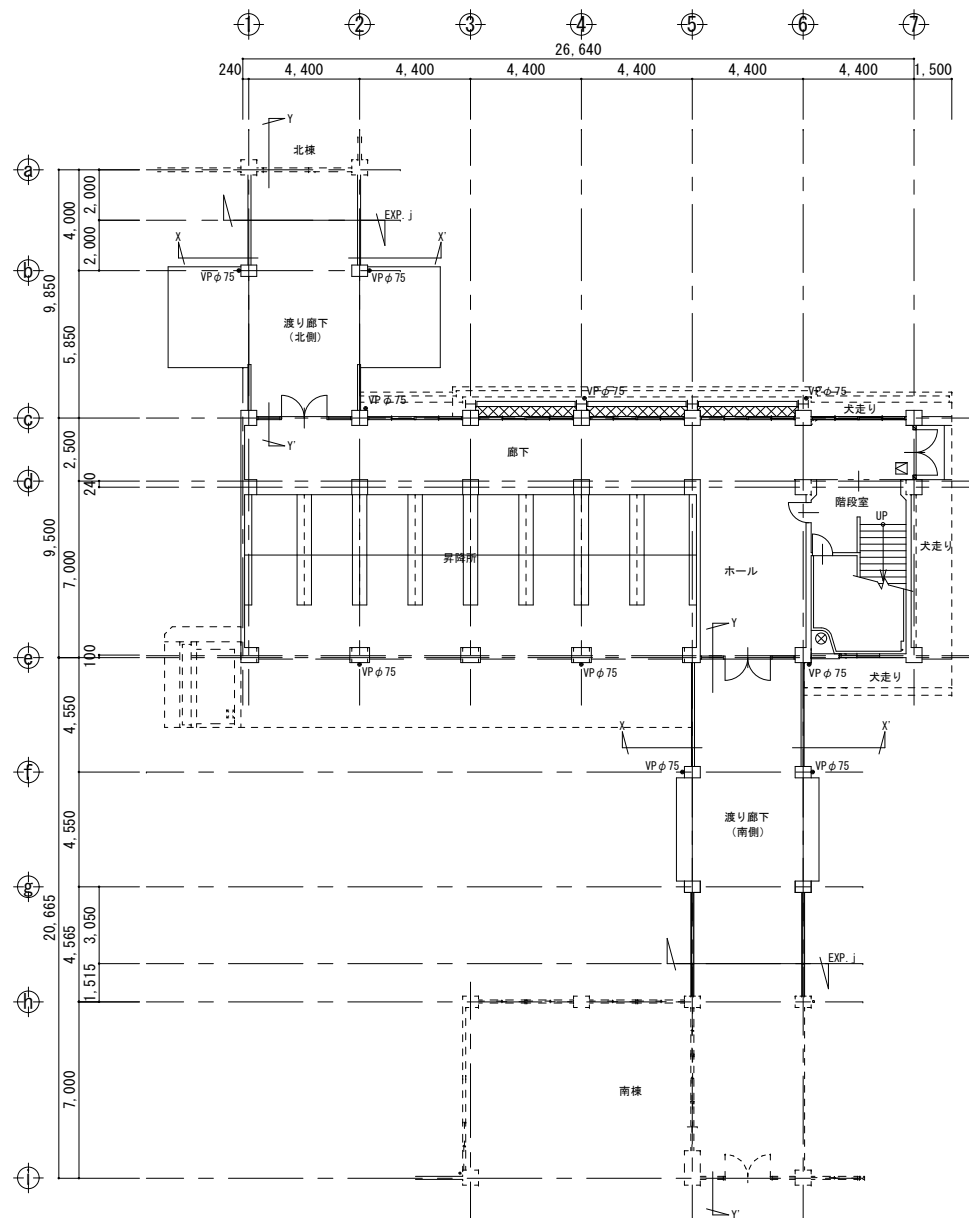
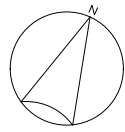
工事範囲(改修建物)
 ・体育倉庫: 鉄筋コンクリート造平家建 延べ面積32㎡
 防水改修工事(塗膜防水)
 外壁改修工事
 塗装改修工事
 環境配慮改修工事(既存外壁:石綿含有)

工事範囲(改修建物)
 ・屋外便所: 鉄筋コンクリート造平家建 延べ面積16㎡
 ・屋外受水槽: 鉄筋コンクリート造平家建 延べ面積35㎡
 防水改修工事(塗膜防水、とい)
 外壁改修工事
 塗装改修工事

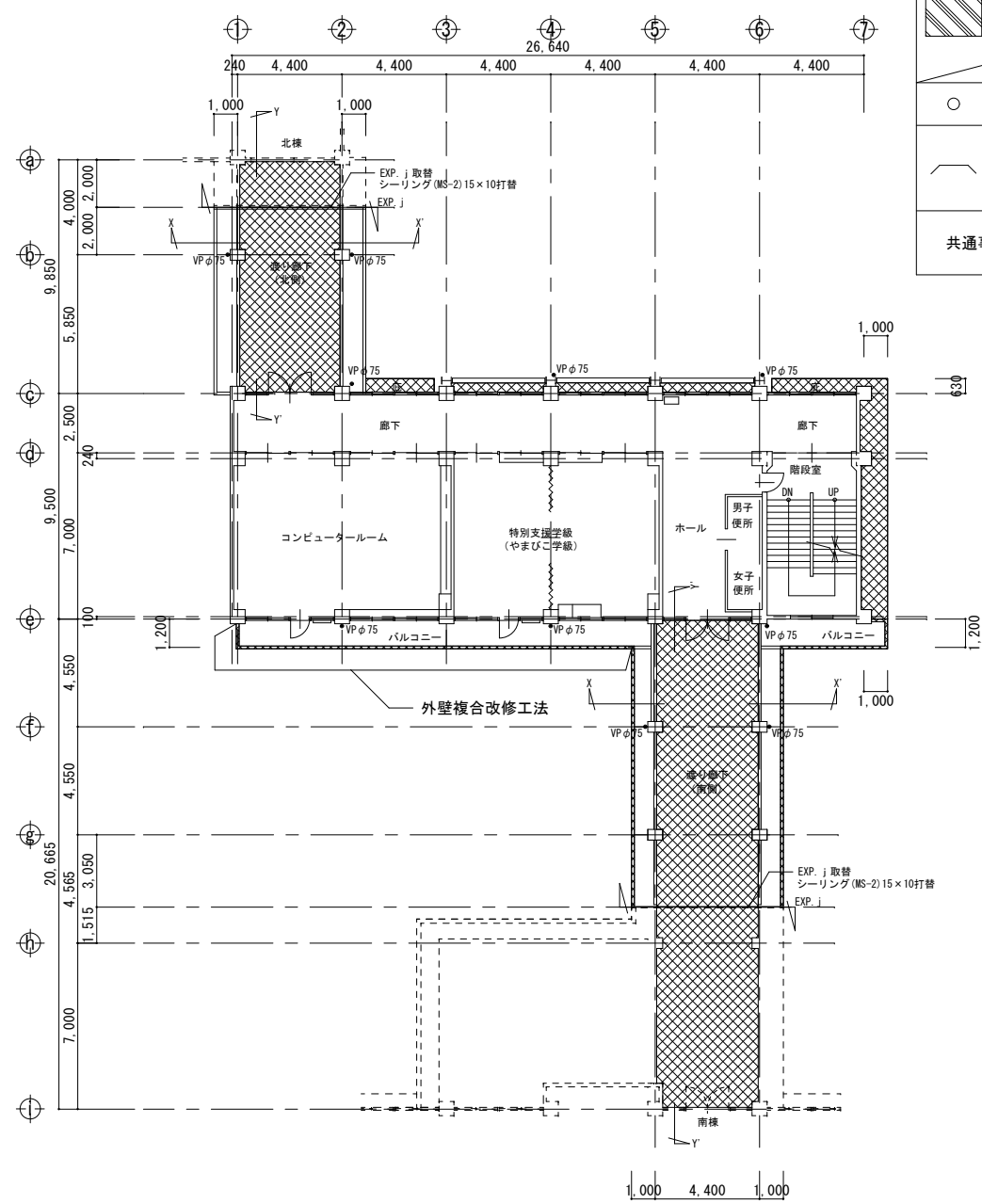
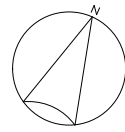
工事範囲
 ・門扉: 鉄骨造
 塗装改修工事

配置図 S=1/400

工事名称 福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事	尺度 S = 1/400
図面名称 敷地案内図・配置図	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%
福山市建設局建築部営繕課	図面No 7 / 16



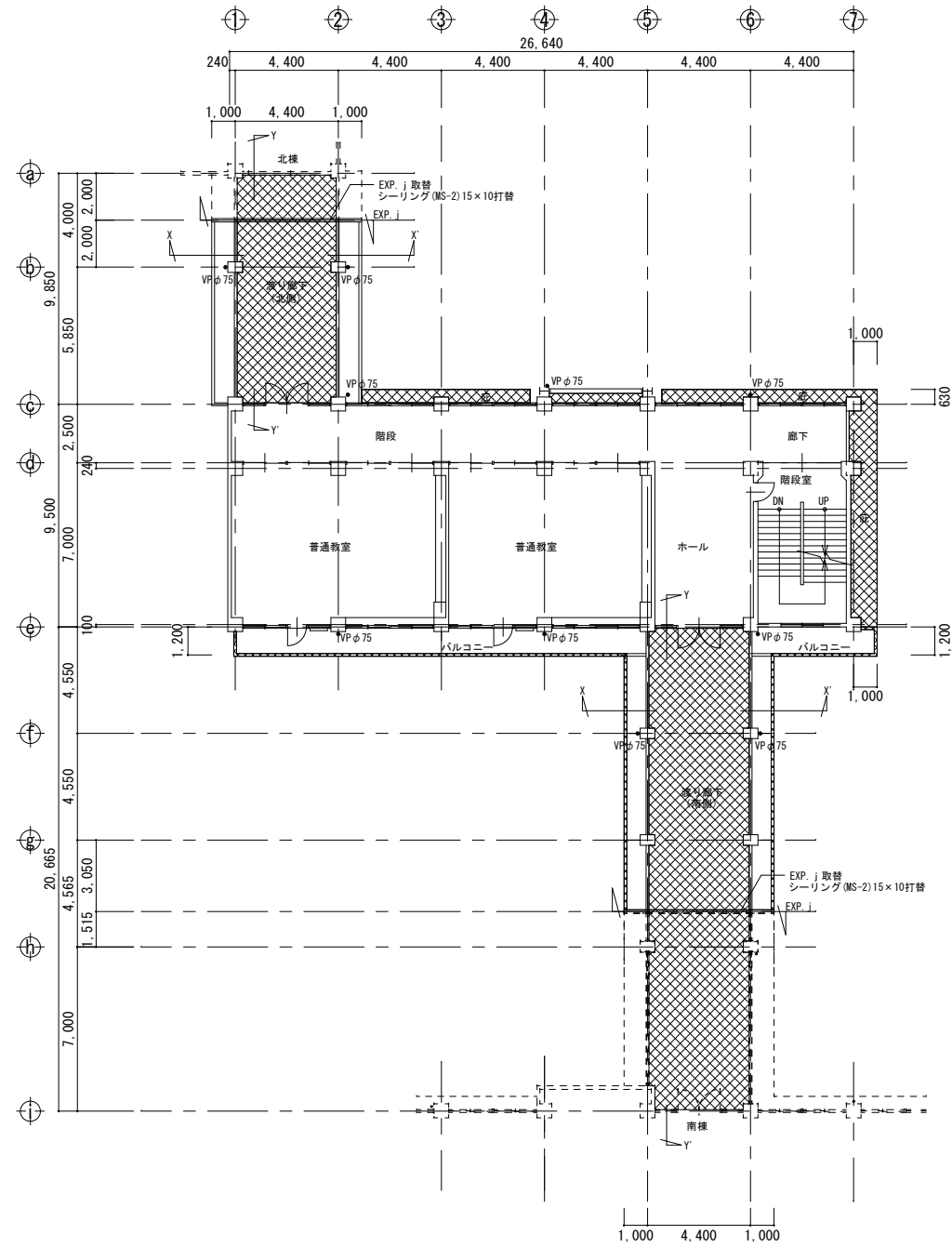
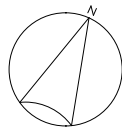
1階平面図 S=1/150



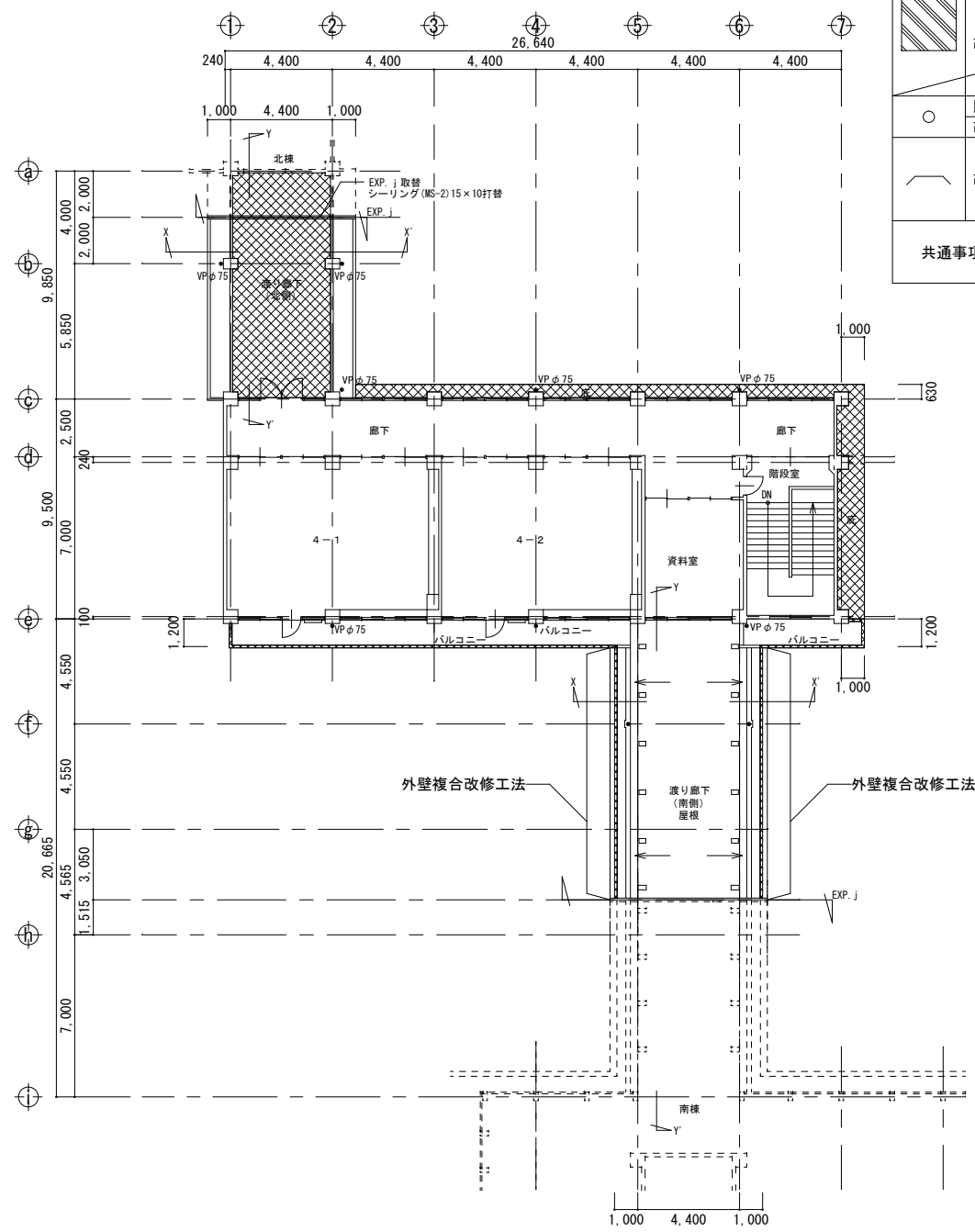
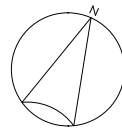
2階平面図 S=1/150

凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整(カック処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部: 100mm程度巻き上げ 渡り廊下等の歩行部 ウレタン系塗膜防水(X-2工法 防滑仕様) ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	平場: 水洗い、既存防水層損傷・剝離・浮き部補修の上 合成 高分子系膜防水シート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法) ◎ 箇所: SUS脱気筒取付 ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	立上り・溝部: 既存防水層撤去・カック・清掃、水洗い、下地調 整(カック処理共)の上 合成高分子系膜防水シート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部押え(笠木・立上り部): 7Mアング #45×65取付(シーリング 仕舞)
既存	VP径樋φ75
改修	既存撤去(金具共)の上 カラVPφ75取付(SUS金具共)
改修	【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa[N/mm ²]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及びM-カ基準を満たす ものとする。

工事名称 福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事		尺度 S = 1/150
図面名称 1階・2階平面図		縮尺率 図面No
	福山市建設局建築部営繕課	A1=100%
		A2=71%
		A3=50%



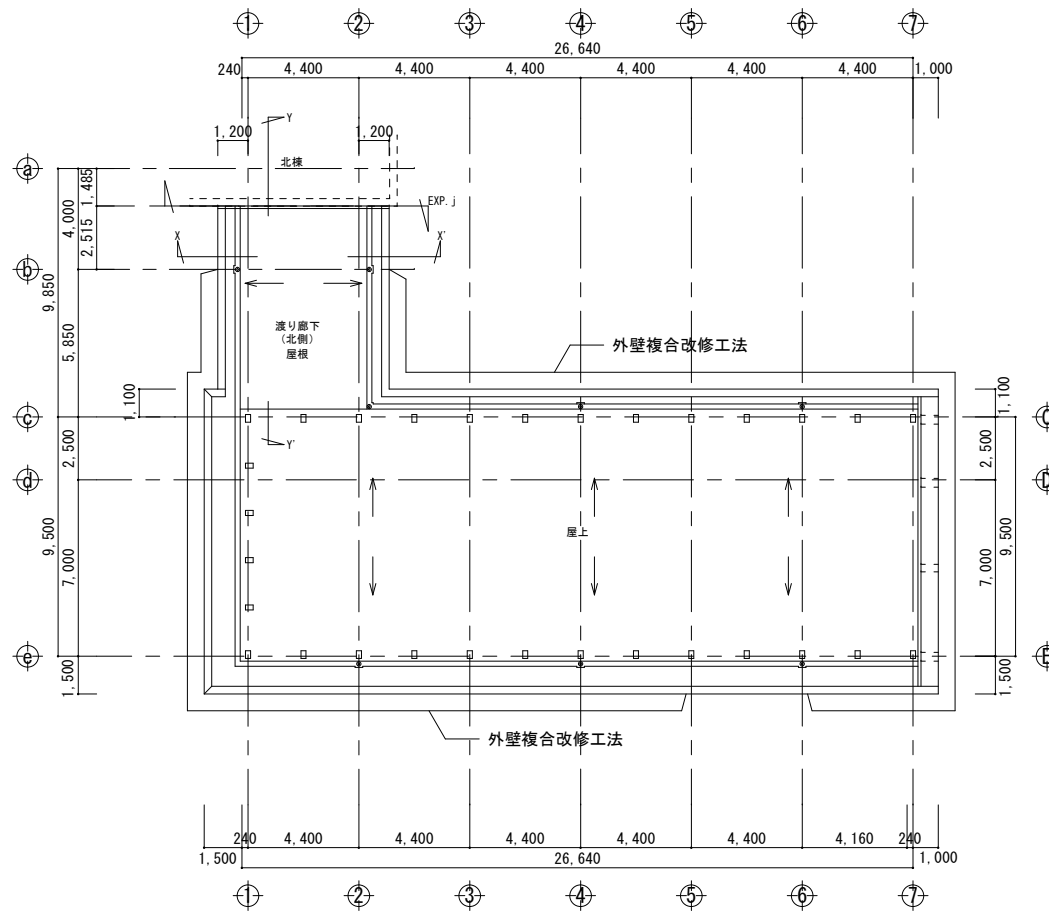
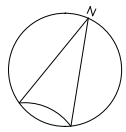
3階平面図 S=1/150



4階平面図 S=1/150

凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整(カック処理・目地埋め共)の上 カクゴム系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部: 100mm程度巻き上げ 渡り廊下等の歩行部 カクゴム系塗膜防水(X-2工法 防滑仕様) ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	平場: 水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系樹脂シート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法) ◎ 箇所: SUS脱気筒取付 ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	立上り: 溝部: 既存防水層撤去・カック・清掃、水洗い、下地調 整(カック処理共)の上 合成高分子系樹脂シート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部押え(笠木・立上り部): 7mm厚φ45×65取付(シーリング仕舞)
既存	VP径φ75
改修	既存撤去(金具共)の上 φ75取付(SUS金具共)
改修	【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa [N/mm ²]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及びF-カ基準を満たす ものとする。

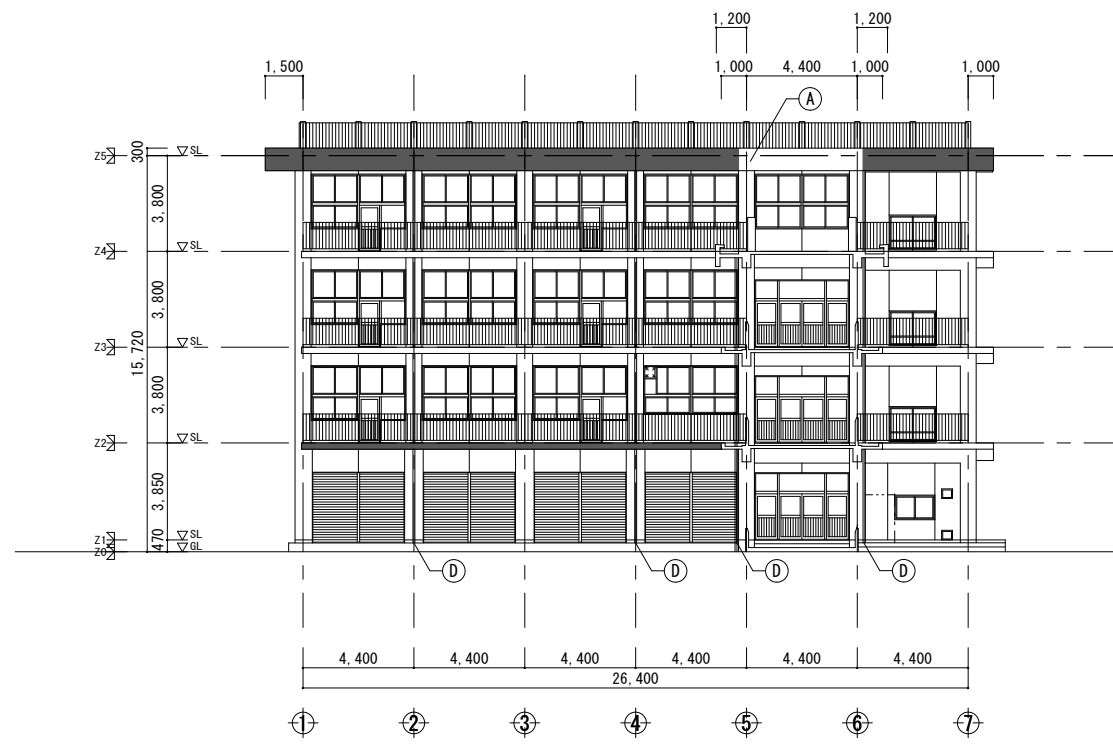
工事名称		福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事	
図面名称	3階・4階平面図	尺度	S = 1/150
福山市建設局建築部営繕課		縮尺率	図面No
		A1=100%	9
		A2= 71%	16
		A3= 50%	



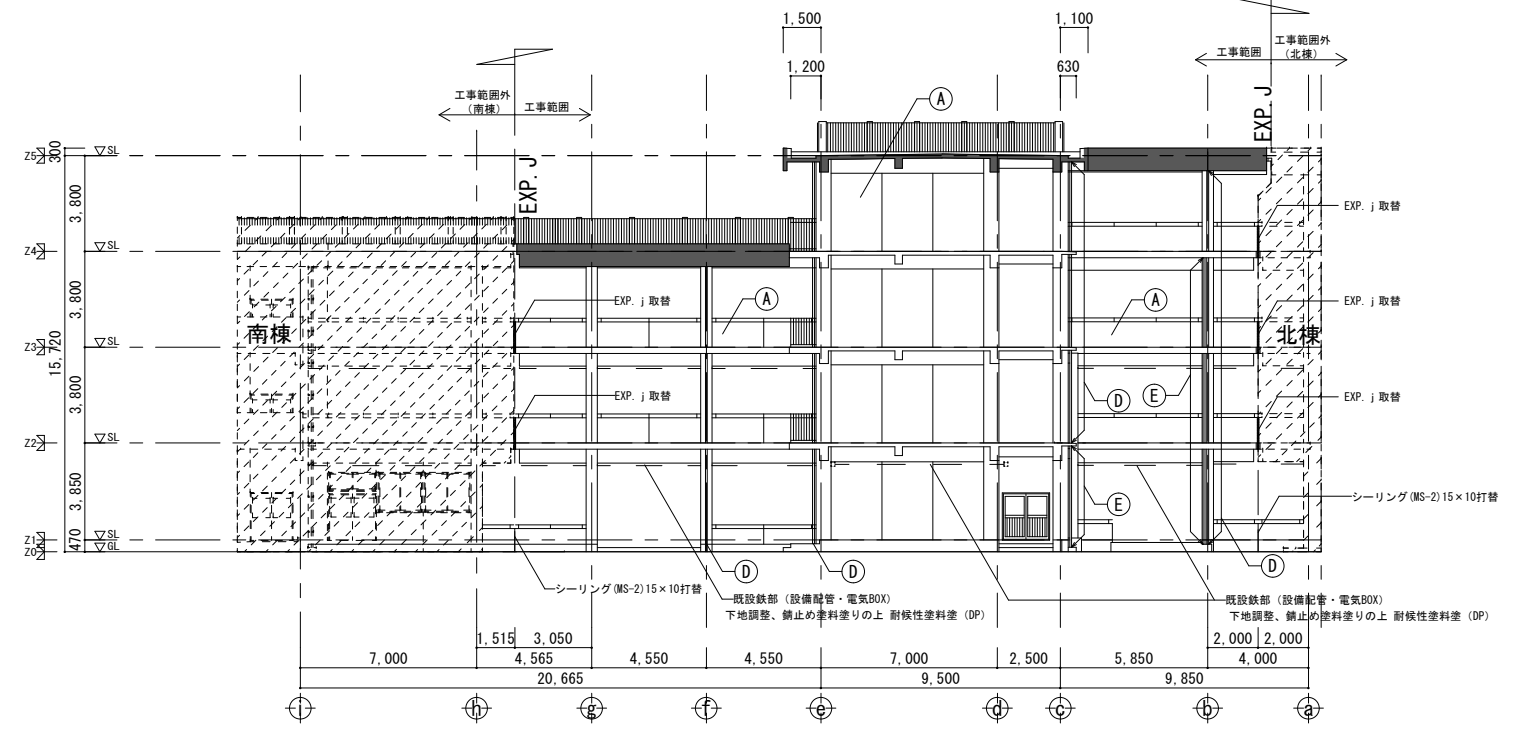
R階平面図 S=1/150

凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り:水洗い、下地調整(クラック処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部:100mm程度巻き上げ 渡り廊下等の歩行部 ウレタン系塗膜防水(X-2工法 防滑仕様) ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	平場:水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系樹脂シート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法) ◎ 箇所: SUS脱気筒取付 ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	立上り・溝部:既存防水層撤去・ケツ・清掃、水洗い、下地調 整(クラック処理共)の上 合成高分子系樹脂シート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部押え(笠木・立上り部):7Mマシナリ #45×65取付(シーリング 仕舞)
既存	VP縦樋φ75
改修	既存撤去(金具共)の上 75φVP取付(SUS金具共)
改修	【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa [N/mm ²]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及びびーカ基準を満たす ものとする。

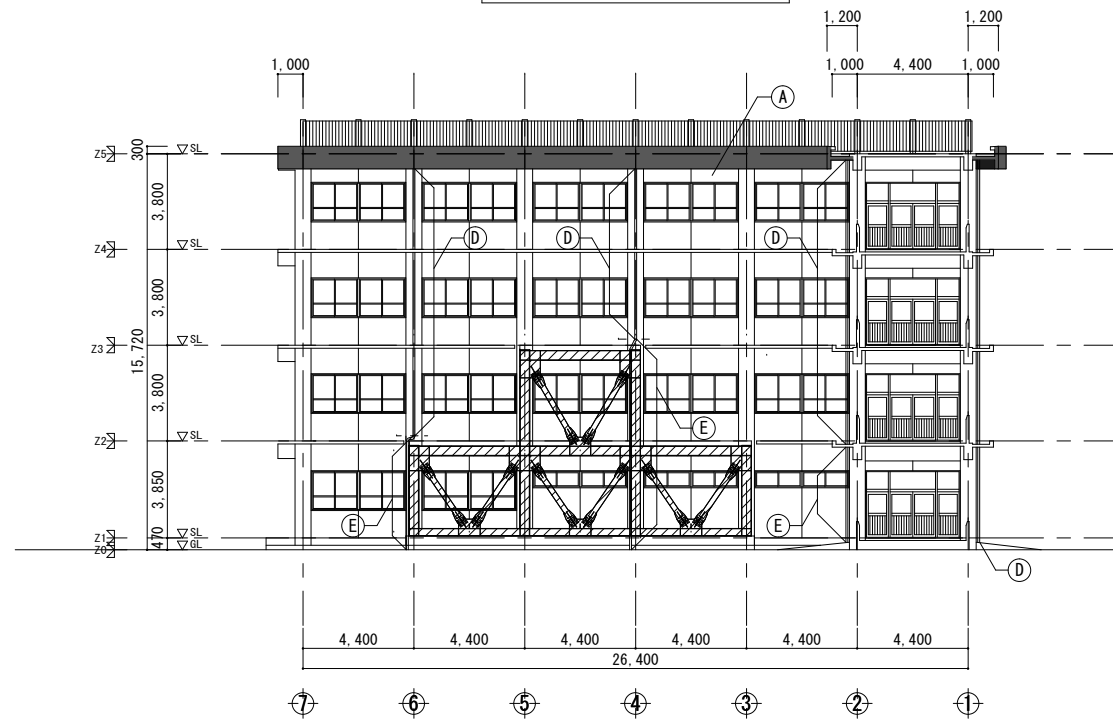
工事名称 福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事		尺度 S = 1/150	
図面名称 R階平面図		縮尺率	図面No
	福山市建設局建築部営繕課	A1=100%	10/16
		A2=71%	
		A3=50%	



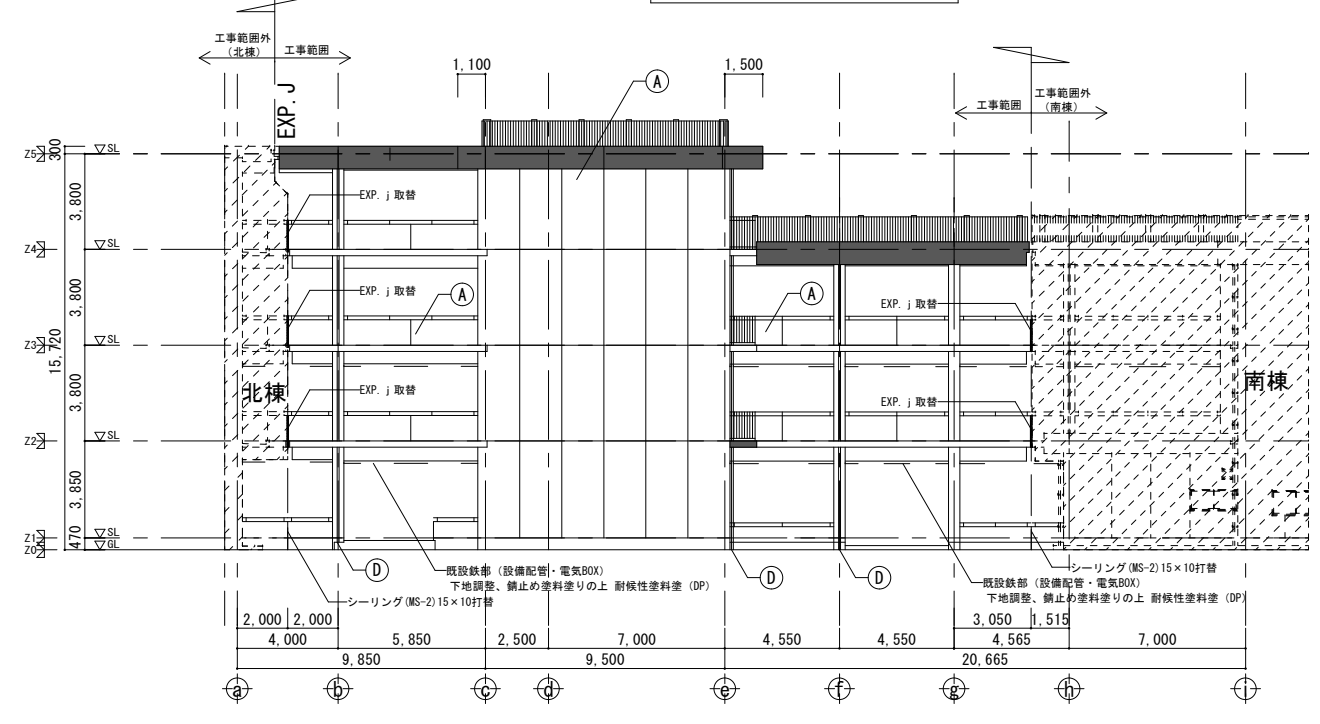
南側立面図 S=1/150



東側立面図 S=1/150



北側立面図 S=1/150

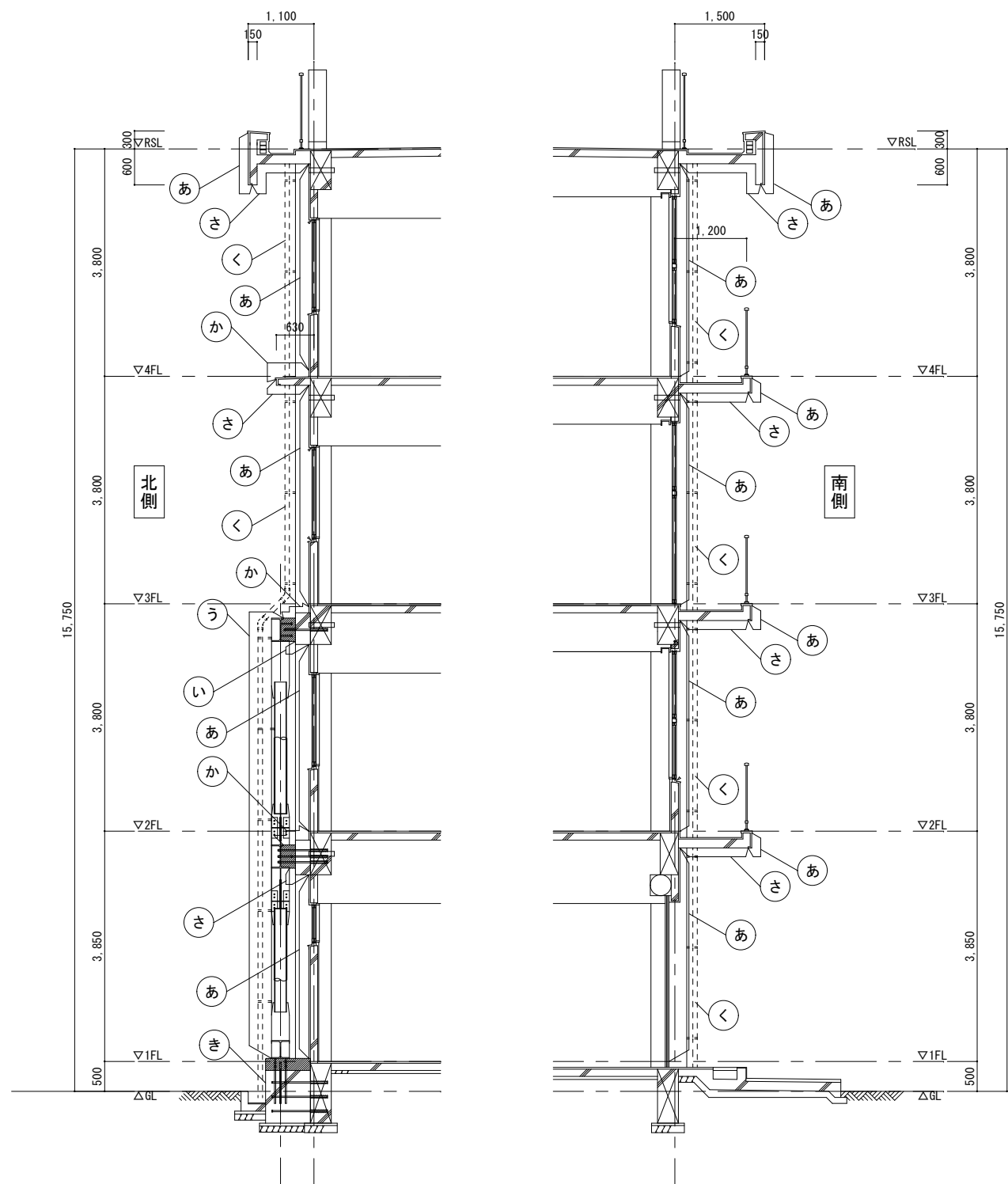


西側立面図 S=1/150

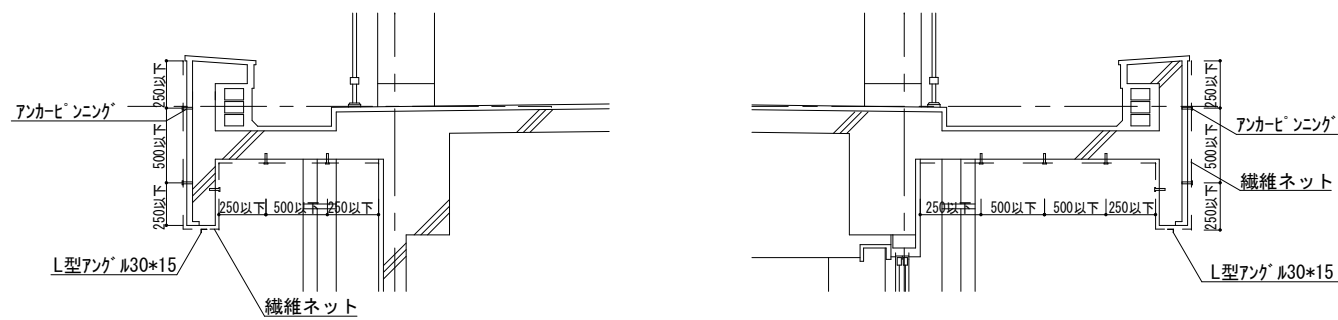
凡例・共通事項

凡例	仕上げ		
A	既存	外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 軒裏:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り	D 既存 縦樋:VPφ75 改修 既存撤去(金具共)の上 ｶｰVPφ75取付(SUS金具共)
	改修	軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り 部:外壁複合改修工法(F工法)施工範囲	E 既存 縦樋:VPφ75 改修 水洗い清掃
B	既存	耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装	<ul style="list-style-type: none"> ・建具周囲・水切端部:変成シリコン系シーリング (MS-2) 15×10打替 ・既存鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り (DP) [対象]設備配管・電気BOX・その他監督員が指示するもの ・基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と思われる場合は監督員と協議する。
	改修	耐震CON壁:清掃の上 複層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り (DP)	
C	既存	外壁石綿含有部:アクリルリシン吹付 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り	
	改修	軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り	

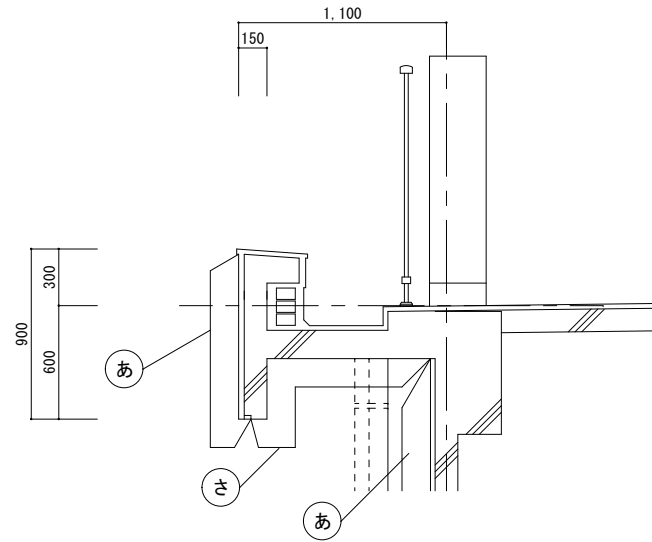
工事名称 福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事		尺度 S = 1/150
図面名称 立面図	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%	図面No 11/16
福山市建設局建築部営繕課		



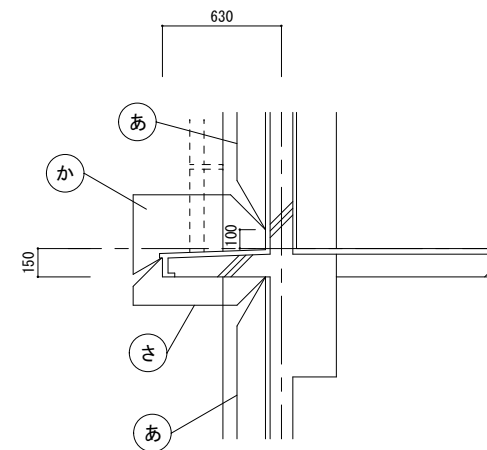
矩計図 S=1/50



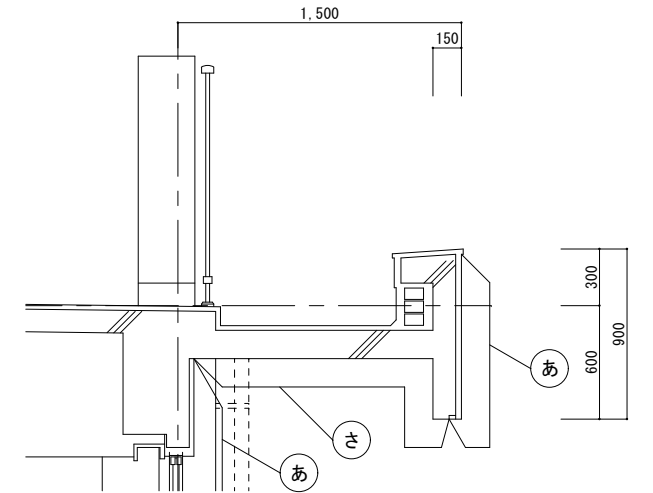
F工法詳細図 S=1/20



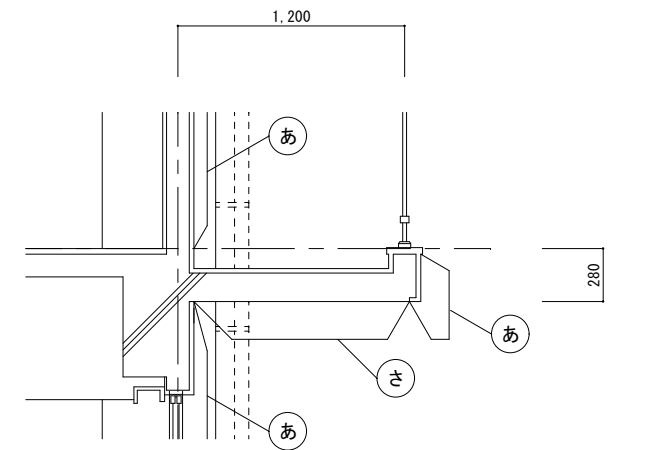
北側大庇詳細図 S=1/20



北側小庇詳細図 S=1/20



南側大庇詳細図 S=1/20

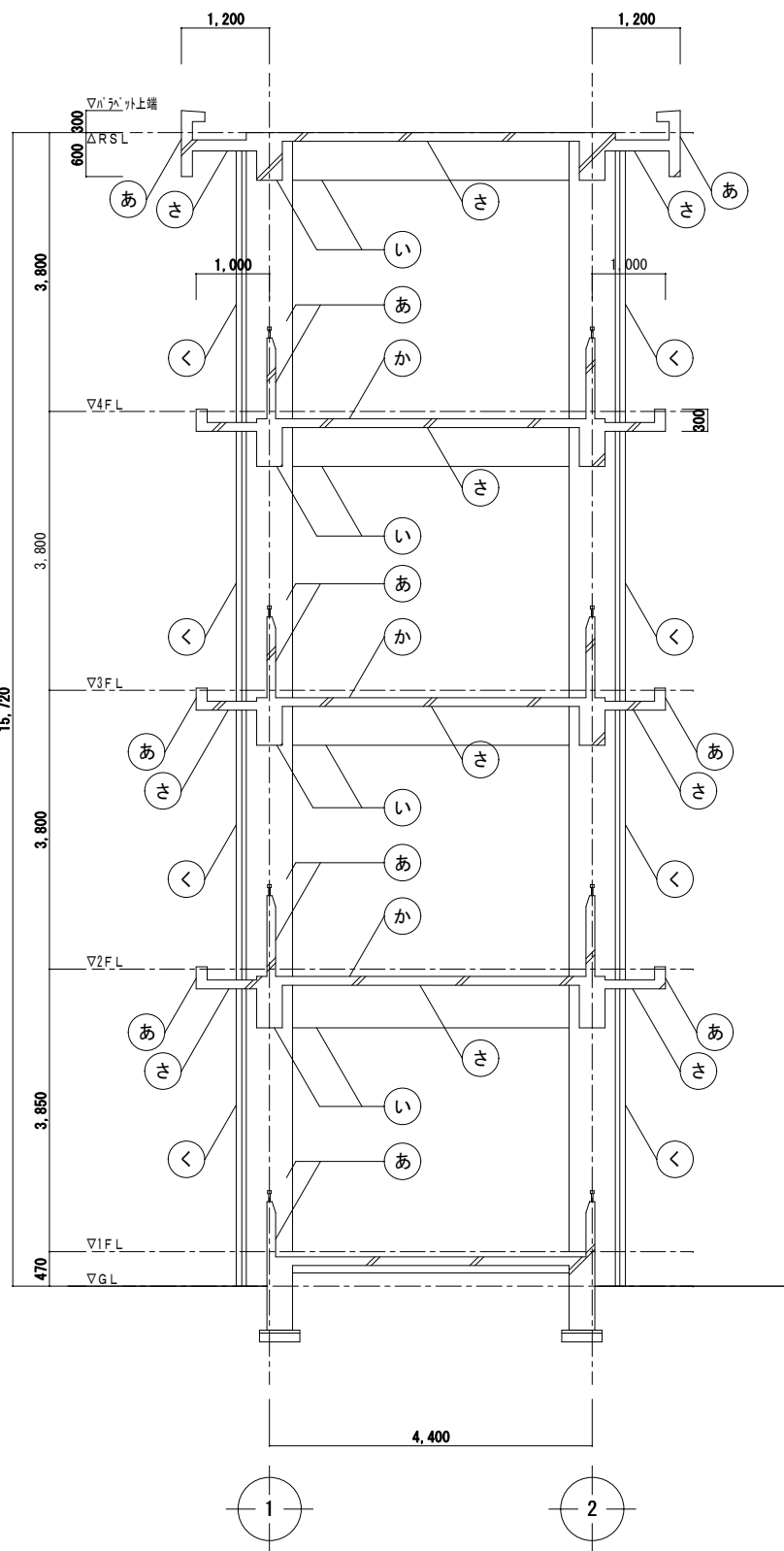


南側バルコニー詳細図 S=1/20

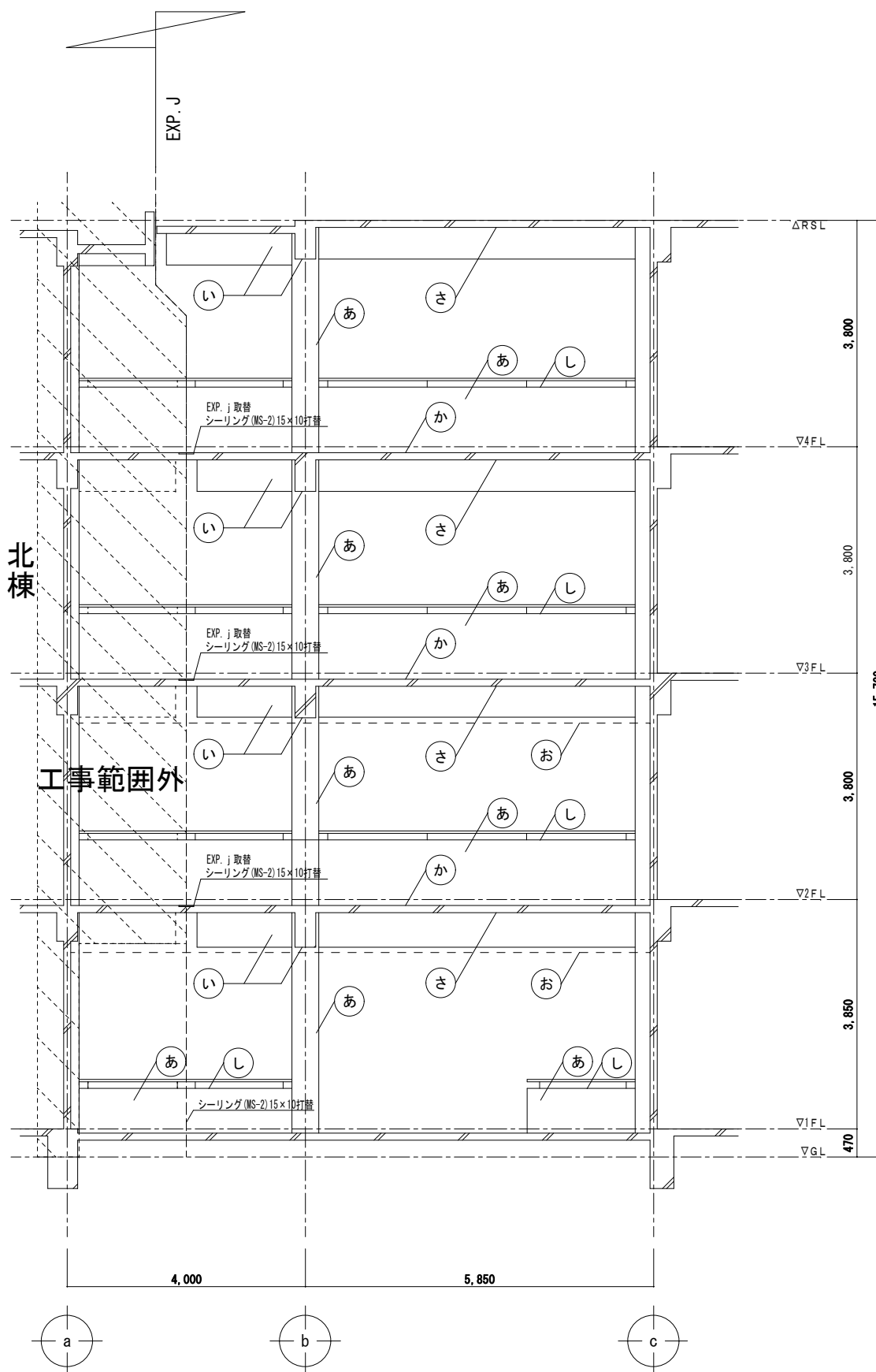
符号	仕上	符号	仕上
あ	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 改修 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り	き	既存 幅木:モルタル金コチ押え 改修 水洗い
い	既存 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 改修 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り	く	既存 縦樋: VPφ75 改修 既存撤去(金具共)の上 か-VPφ75取付(SUS金具共)
う	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装 改修 耐震CON壁:清掃の上 複層塗材E塗り(上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)	け	既存 シート防水(平場) 改修 水洗い、既存防水層損傷・剝離・浮き部補修の上、シート防水(S-M2 t=1.5)
え	既存 外壁石綿含有部 アクリルリシン吹付 改修 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り	こ	既存 シート防水(立上り・溝部) 改修 既存防水層撤去、ケレン・清掃、水洗い、下地調整の上 シート防水(S-F2 t=2.0)
お	既存 鉄部:塗装仕上げ 改修 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)	さ	既存 軒裏:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 改修 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り
か	既存 防水モルタル塗り 改修 平場・立上り:水洗い、下地調整の上 ｸﾞﾗﾝｺﾞﾑ系塗膜防水(X-2)	し	既存 防水モルタル塗り 改修 笠木・立上り:水洗い、下地調整の上 ｸﾞﾗﾝｺﾞﾑ系塗膜防水(X-2)

※水洗いの水圧力15MPa[N/mm²]程度とする。

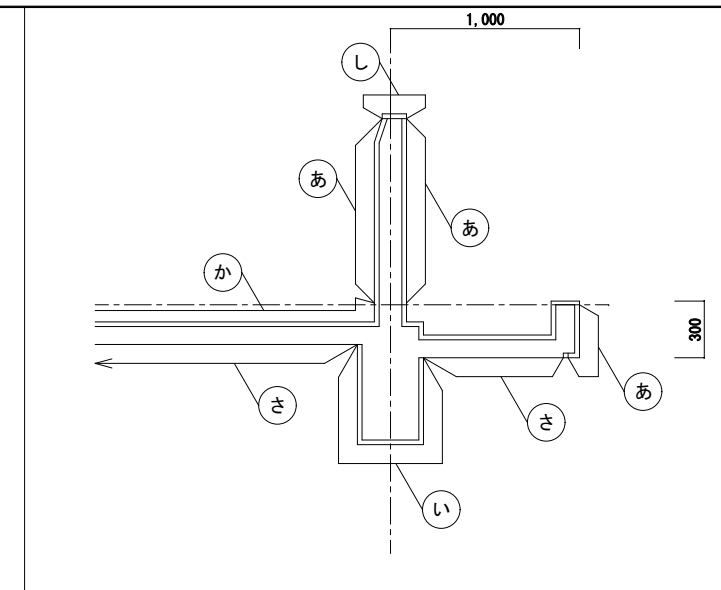
工事名称	福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事	
図面名称	矩計図・部分詳細図・F工法詳細図	尺度 S = 1/50, 1/30
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
	A1=100%	12
	A2=71%	16



渡り廊下X-X' 断面詳細図 1/50



渡り廊下Y-Y' 断面詳細図 1/50

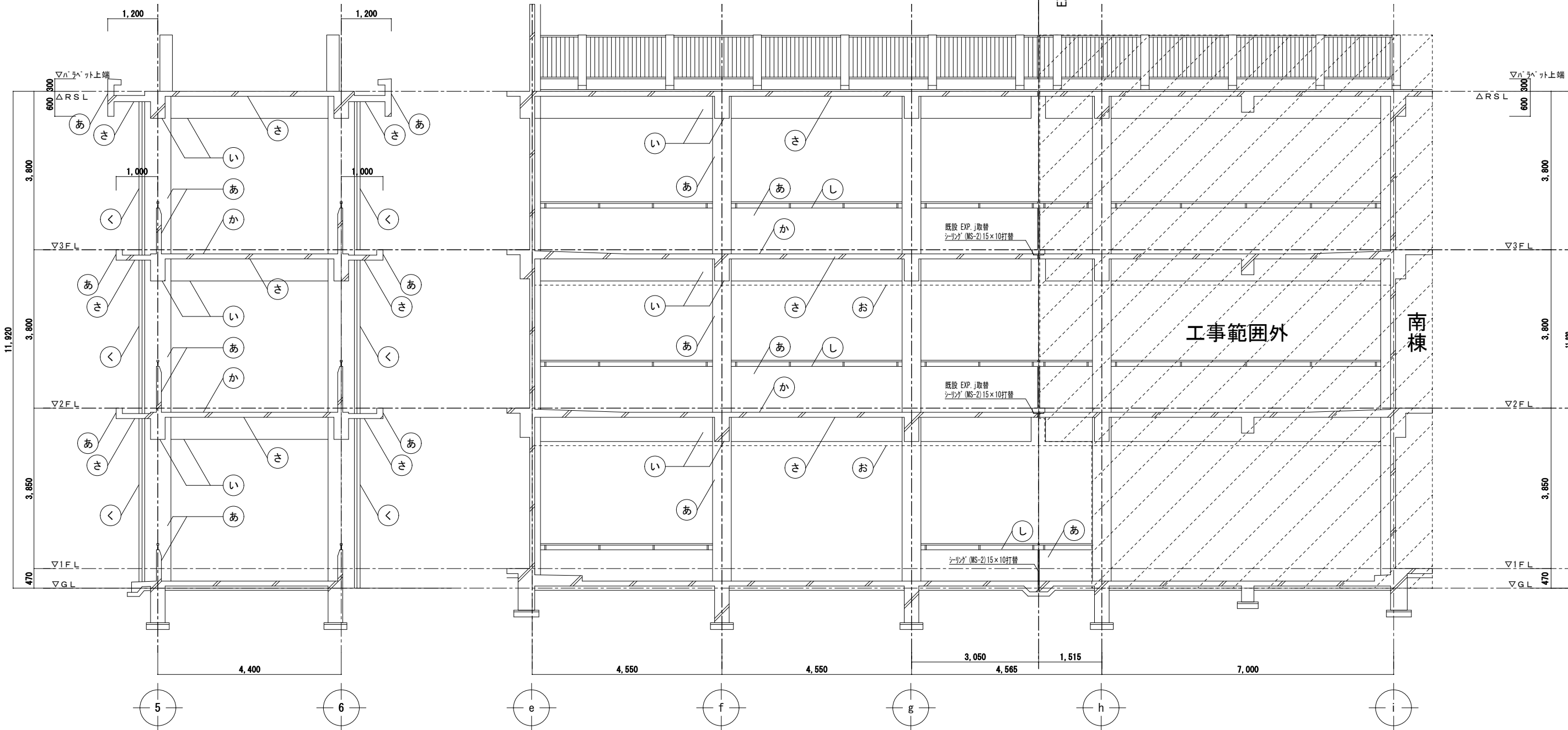


部分詳細図 S=1/20

符号	仕上げ
あ	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 改修 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り
い	既存 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 改修 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り
う	既存 耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装 改修 耐震CON壁:溝掃の上 複層塗材E塗り(上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)
え	既存 外壁石綿含有部 アクリルリシン吹付 改修 外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り
お	既存 鉄部:塗装仕上げ 改修 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)
か	既存 防水モルタル塗り 改修 平場・立上り:水洗い、下地調整の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)
き	既存 幅木:モルタル金コテ押え 改修 水洗い
く	既存 縦樋:VPφ75 改修 既存撤去(金具共)の上 新VPφ75取付(SUS金具共)
け	既存 シート防水(平場) 改修 水洗い、既存防水層損傷・剝離・浮き部補修の上、シート防水(S-M2 t=1.5)
こ	既存 シート防水(立上り・溝部) 改修 既存防水層撤去、丸ノコ・溝掃、水洗い、下地調整の上 シート防水(S-F2 t=2.0)
さ	既存 軒裏:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 改修 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り
し	既存 防水モルタル塗り 改修 笠木・立上り:水洗い、下地調整の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)

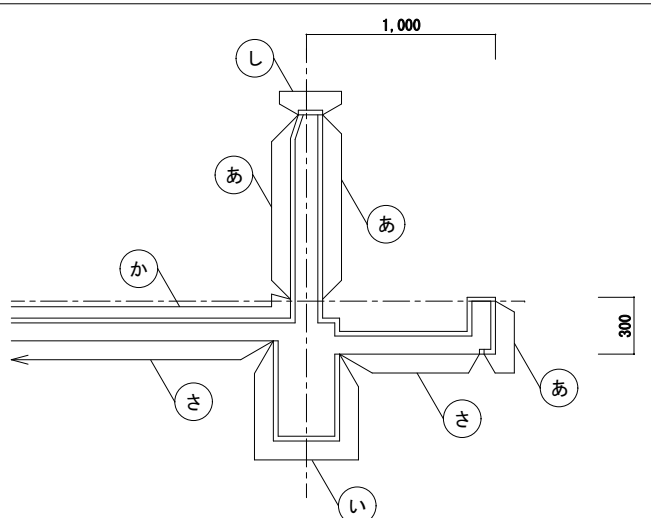
※水洗いの水圧力15MPa[N/mm²]程度とする。

工事名称	福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事	
図面名称	渡り廊下(北側)各図面	尺度 S = 1/50, 1/20
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	図面No
	A1=100%	13
	A2=71%	16



渡り廊下X-X' 断面詳細図 1/50

渡り廊下Y-Y' 断面詳細図 1/50



部分詳細図 S=1/20

符号	仕上がり	符号	仕上がり
あ	既存 外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	き	既存 幅木:モルタル金コテ押え
改修	外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り	改修	水洗い
い	既存 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	く	既存 縦樋: VP φ75
改修	外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り	改修	既存撤去(金具共)の上 3φ-VP φ100取付(SUS金具共)
う	既存 耐震CON壁・外装薄塗材E吹付 耐震鉄部: DP塗装	け	既存 シート防水(平場)
改修	耐震CON壁: 清掃の上 複層塗材E塗り(上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部: 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)	改修	水洗い、既存防水層損傷・剝離・浮き部補修の上、シート防水(S-M2 t=1.5)
え	既存 外壁石綿含有部 アクリルリシン吹付	こ	既存 シート防水(立上り・溝部)
改修	外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り	改修	既存防水層撤去、ケレン・清掃、水洗い、下地調整の上 シート防水(S-F2 t=2.0)
お	既存 鉄部:塗装仕上げ	さ	既存 軒裏:コンクリート打放し アクリルリシン吹付
改修	下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)	改修	外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り
か	既存 防水モルタル塗り	し	既存 防水モルタル塗り
改修	平場・立上り:水洗い、下地調整の上 ウレタン®系塗膜防水(X-2)	改修	笠木・立上り:水洗い、下地調整の上 ウレタン®系塗膜防水(X-2)

※水洗いの水圧力15MPa[N/mm²]程度とする。

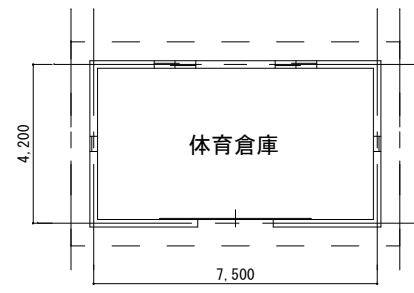
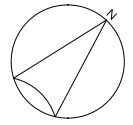
工事名称
福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事

縮尺率
S = 1/50, 1/20

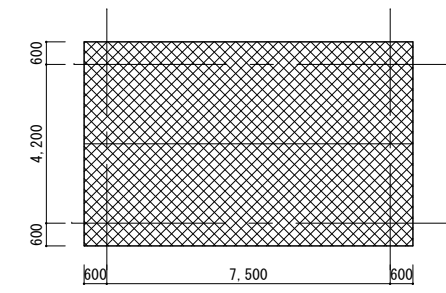
図面No
14/16

福山市建設局建築部営繕課

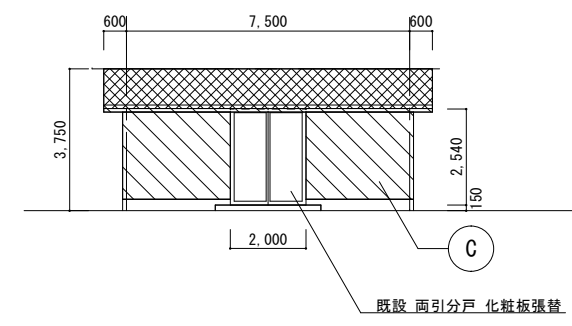
体育倉庫 1/100



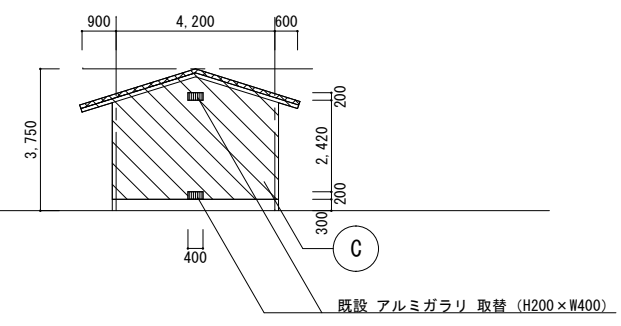
平面図 S=1/100



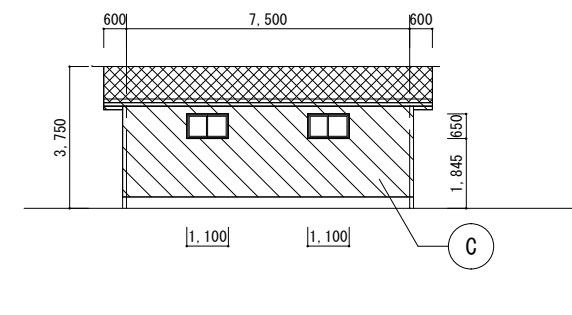
屋根伏図 S=1/100



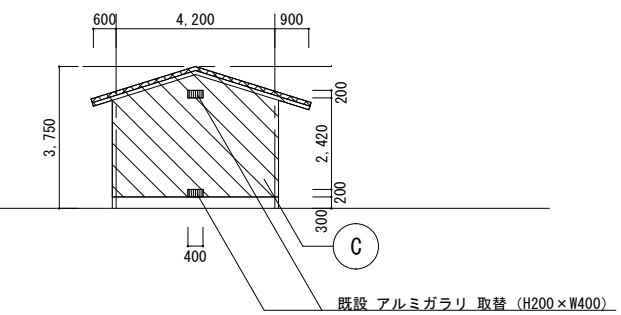
南立面図 S=1/100



東立面図 S=1/100



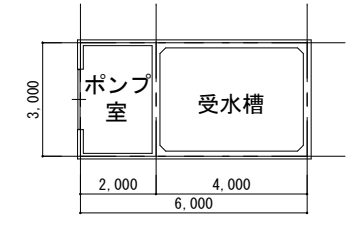
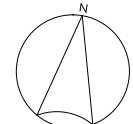
東立面図 S=1/50



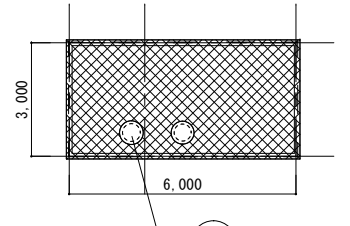
西立面図 S=1/100

凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り:水洗い、下地調整(クマック処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部:100mm程度巻き上げ 渡り廊下等の歩行部 ウレタン系塗膜防水(X-2工法 防滑仕様) ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	平場:水洗い、既存防水層損傷・剝離・浮き部補修の上 合成 高分子系ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法) 守 箇所: SUS脱気筒取付 ◎ 箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	立上り: 清部:既存防水層撤去・ケツ・清掃、水洗い、下地調 整(クマック処理共)の上 合成高分子系ルーフィングシート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部押え(笠木・立上り部):7Mアングル45×65取付(シーリング 仕舞)
既存	VP縦樋φ75
改修	既存撤去(金具共)の上 新VPφ75取付(SUS金具共)
改修	【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa[N/mm ²]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及びメーカー基準を満たす ものとする。

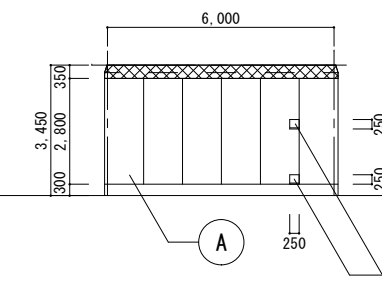
屋外受水槽 1/100



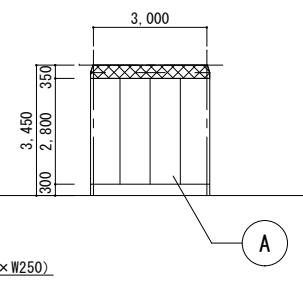
平面図 S=1/100



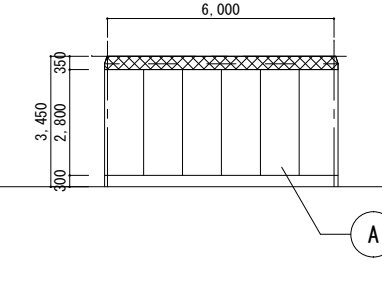
屋根伏図 S=1/100



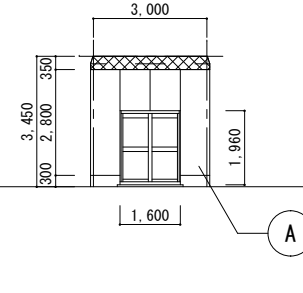
南立面図 S=1/50



東立面図 S=1/100



北立面図 S=1/100



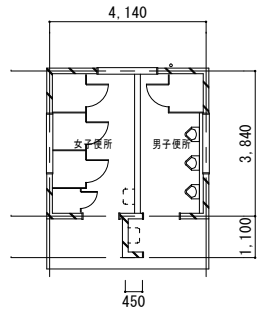
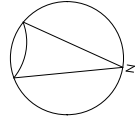
西立面図 S=1/100

凡例	仕上げ
既存	外壁:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 軒裏:モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付
改修	外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り ■部:外壁複合改修工法(F工法)施工範囲
既存	耐震CON壁:外装薄塗材E吹付 耐震鉄部:DP塗装
改修	耐震CON壁:清掃の上 複層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性 塗料塗り(DP)
既存	外壁石綿含有部:アクリルリシン吹付
改修	外壁:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 軒裏:外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り
既存	縦樋:VPφ75
改修	既存撤去(金具共)の上 新VPφ75取付(SUS金具共)
既存	縦樋:VPφ75
改修	水洗い
既存	鉄部:DP塗装
改修	鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料 塗り(DP)

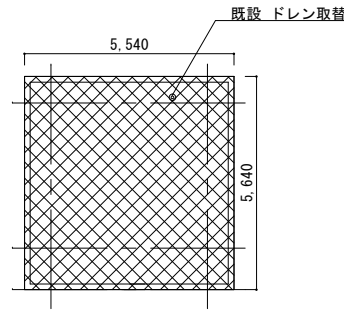
・既存鉄部:下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)
[対象]設備配管・換気口・ガス・加圧・電気BOX・建具(両面・
小口・枠共)・その他監督員が指示するもの
・基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と
思われる場合は監督員と協議する。

工事名称	福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事		
図面名称	平面図・立面図 NO.1	尺度	S = 1/100
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率	A1=100%	15/16
		A2= 71%	
		A3= 50%	

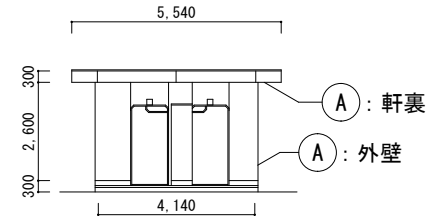
屋外便所 1/100



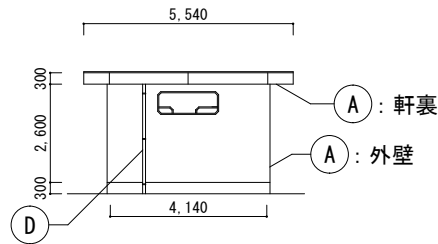
平面図 S=1/100



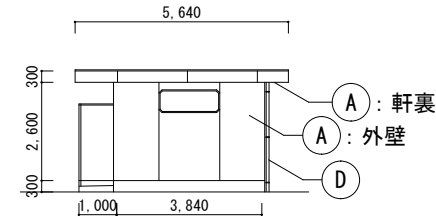
屋根伏図 S=1/100



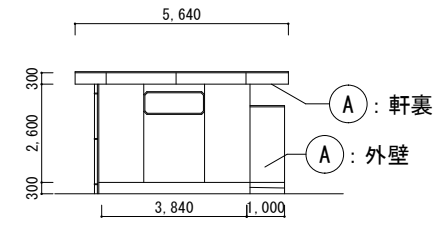
西立面図 S=1/100



東立面図 S=1/100



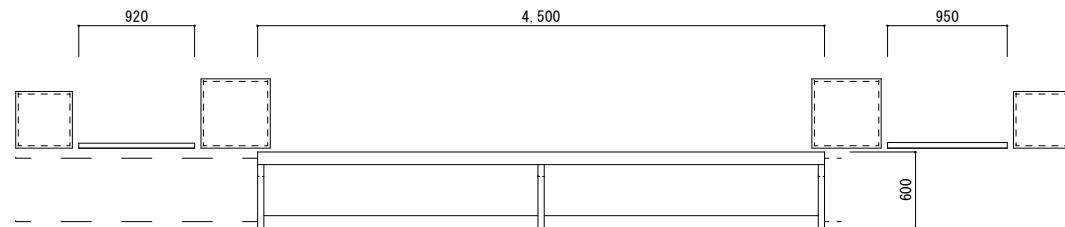
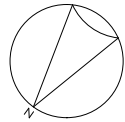
北立面図 S=1/100



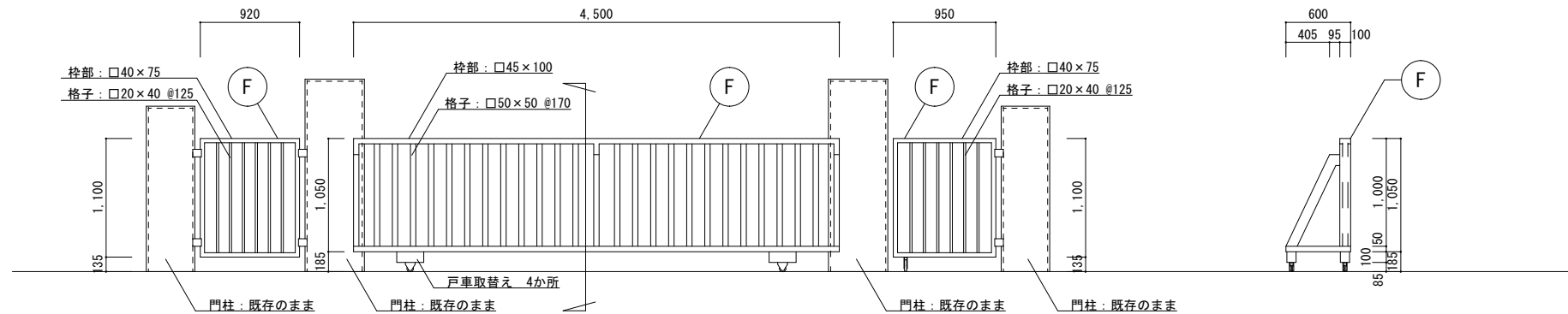
南立面図 S=1/100

凡例	改修内容
既存	防水モルタルコテ押え
改修	平場・立上り: 水洗い、下地調整(クラク処理・目地埋め共)の上 ウレタン系塗膜防水(X-2工法) ※手摺基部: 100mm程度巻き上げ 渡り廊下等の歩行部 ウレタン系塗膜防水(X-2工法 防滑仕様) ◎箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	平場: 水洗い、既存防水層損傷・剥離・浮き部補修の上 合成 高分子系ルーフィングシート張り (塩化ビニル樹脂系t=1.5 S-M2機械的固定工法) ◎箇所: SUS脱気筒取付 ◎箇所: 既存ドレン撤去 改修ドレン新設
既存	シート防水
改修	立上り・溝部: 既存防水層撤去・クラク・清掃、水洗い、下地調 整(クラク処理共)の上 合成高分子系ルーフィングシート 張り(塩化ビニル樹脂系t=2.0 S-F2接着工法) 端部押え(笠木・立上り部): 7mmアングル45×65取付(シーリング仕様)
既存	VP縦樋φ75
改修	既存撤去(金具共)の上 新VPφ75取付(SUS金具共)
改修	【外壁複合改修工法(F工法)施工範囲】 外壁劣化改修、水洗い、外壁複合改修の上 複層 塗材E塗り(軒裏部分は外装薄塗材E塗り)
共通事項	水洗いの水圧力は15Mpa[N/mm ²]程度とする。 シート防水は建築基準法施行令第82条の4及びメーカー基準を満たす ものとする。

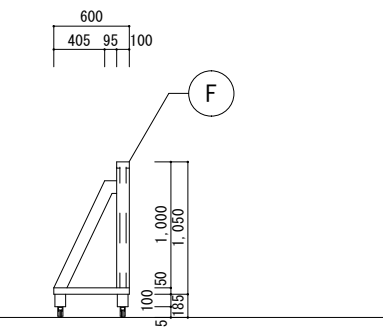
門扉 1/30



平面図 S=1/30



正面図 S=1/30



断面図 S=1/30

凡例	仕上げ
既存	外壁: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付 軒裏: モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付
改修	外壁: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 複層塗材E塗り 軒裏: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-1)の上 外装薄塗材E塗り ◎部: 外壁複合改修工法(F工法)施工範囲
既存	耐震CON壁: 外装薄塗材E吹付 耐震鉄部: DP塗装
改修	耐震CON壁: 清掃の上 複層塗材E塗り (上塗材2回塗りのみ) 耐震鉄部: 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性 塗料塗り(DP)
既存	外壁石綿含有部: アクリルリシン吹付
改修	外壁: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 複層塗材E塗り 軒裏: 外壁劣化改修、水洗い、下地調整(C-2)の上 外装薄塗材E塗り
既存	縦樋: VPφ75
改修	既存撤去(金具共)の上 新VPφ75取付(SUS金具共)
既存	縦樋: VPφ75
改修	水洗い
既存	鉄部: DP塗装
改修	鉄部: 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料 塗り(DP)

・既存鉄部: 下地調整、錆止め塗料塗りの上 耐候性塗料塗り(DP)
[対象] 設備配管・換気口・ケサ-加-電気BOX・建具(両面・小口・枠共)・その他監督員が指示するもの
・基礎幅木は原則水洗いのみ行う。ひび割れ等の補修が必要と思われる場合は監督員と協議する。

工事名称	福山市立泉小中学校校舎外壁改修工事	尺度	S = 1/100, 1/30	
図面名称	附属棟 平面図・立面図 NO. 2	縮尺率	図面No	
福山市建設局建築部営繕課		A1=100%	16	
		A2= 71%		16
		A3= 50%		

参考数量書

§ 工事名称 福山市立泉小学中棟校舎外壁改修工事

§ 工事場所 福山市山手町七丁目13番63号

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市立泉小学校中棟校舎外壁改修工事

工事場所 福山市山手町七丁目 1 3 番 6 3 号

【工事概要】
防水改修、外壁改修、塗装改修、環境配慮改修

対象建物	中棟校舎		
	鉄筋コンクリート造	4階建	
	延べ面積	1,301㎡	
	渡り廊下(北側)		
	鉄筋コンクリート造	4階建	
	延べ面積	173㎡	
	渡り廊下(南側)		
	鉄筋コンクリート造	3階建	
	延べ面積	273㎡	
	屋外便所		
	鉄筋コンクリート造	平家建	
	延べ面積	16㎡	
	屋外受水槽		
	鉄筋コンクリート造	平家建	
	延べ面積	35㎡	
	体育倉庫		
	鉄筋コンクリート造	平家建	
	延べ面積	32㎡	
	門扉		
	軽量鉄骨造		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
中棟校舎	1	式		
渡り廊下（北側）	1	式		
渡り廊下（南側）	1	式		
屋外便所	1	式		
屋外受水槽	1	式		
体育倉庫	1	式		
門扉	1	式		
計				

渡り廊下（南側）									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
仮設工事			1		式				
外壁改修工事			1		式				
発生材処分			1		式				
	計								

屋外受水槽						
名	称	数	量	単位	金額	備考
仮設工事		1		式		
外壁改修工事		1		式		
発生材処分		1		式		
計						

体育倉庫									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
仮設工事		1		式					
外壁改修工事		1		式					
発生材処分		1		式					
	計								

中棟校舎					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

渡り廊下（北側）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

渡り廊下（南側）					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

屋外便所					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

屋外受水槽					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

体育倉庫					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
仮設工事	直接仮設	1	式		
計					
外壁改修工事	防水改修工事	1	式		
外壁改修工事	外壁劣化改修工事	1	式		
外壁改修工事	塗装改修工事	1	式		
外壁改修工事	環境配慮改修工事	1	式		
外壁改修工事	その他工事	1	式		
計					
発生材処分	発生材運搬費	1	式		
発生材処分	発生材処理費	1	式		
計					

中棟校舎		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		175	m ²			
開口養生	割り増し	320	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		175	m ²			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	89.9	m ²			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	89.9	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 180日	29.2	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 20m未満 180日	1,158	m ²			
くさび緊結式足場	180日 底部 ブラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	226	m			
くさび緊結式足場	180日 屋上底部 ブラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	82.8	m			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	82.8	m			
外部仕上足場(改修)	階高4.0m以下 180日 バルコニー部 棚足場 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	121	m ²			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	1,187	m ²			
金網式養生柵	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	131	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	2	か所			
計						

中棟校舎		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	89.9	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	89.9	m ²			
出隅部面取り		222	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	89.9	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	75.6	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 笠木・手摺天端	71.5	m			
シーリング撤去	集積共 アスベスト含有	622	m			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.2	m ³			
シーリング	変成シリコン(2成分形)MS-2 15×10 建具周囲	622	m			
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	75.8	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カラー)	径75 SUS金具共	75.8	m			
計						

中棟校舎		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	1,245	m ²			
A-1 打放し面表面劣化 処理		9.5	m ²			
A-2 モルタル面表面劣化 処理		37.9	m ²			
B-2 打放し面Uカットシール 材充填工法	1.0mm以上 挙動 有り	9.9	m			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	39.6	m			
C-1 クラック部打放し面 サビ鉄筋処理		13.4	m			
C-2 クラック部モルタル面 サビ鉄筋処理		53.8	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25m ² 以上	4.1	m ²			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 一般部(16カ所/m ²)	61.2	m ²			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 指定部(25カ所/m ²)	23.7	m ²			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 狭幅部(5カ所/m)	58.2	m			
E-2 打放し部欠損部 処理	樹脂モルタル	0.6	m ²			
E-3 モルタル面欠損部 処理	樹脂モルタル	2.4	m ²			
F 外壁複合改修	ピンネット工法	202	m ²			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビス@450含む	93.4	m			
計						

渡り廊下（北側）		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		46.5	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		46.5	m ²			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	150	m ²			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	150	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 20m未満 180日	309	m ²			
くさび緊結式足場	180日 底部 プラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	15.3	m			
くさび緊結式足場	180日 屋上底部 プラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	61	m			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	15.3	m			
移動足場(ローリングタワー)	W=1.5m 1段 期間1ヶ月	4	台			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	309	m ²			
金網式養生枠	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	41.9	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	2	か所			
計						

渡り廊下（北側）		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	150	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	150	m ²			
出隅部面取り		200	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	150	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面 防漏仕上げ	122	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	7.6	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 笠木・手摺天端	99.9	m			
シーリング撤去	集積共 アスベスト含有	28.9	m			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.1	m ³			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	28.9	m			
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	23.3	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カラー)	径75 SUS金具共	23.3	m			
計						

渡り廊下（北側）		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	471	m ²			
A-1 打放し面表面劣化 処理		7.2	m ²			
A-2 モルタル面表面劣化 処理		10.8	m ²			
B-2 打放し面Uカットシール 材充填工法	1.0mm以上 挙動 有り	7.5	m			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	11.2	m			
C-1 クラック部打放し面 サビ鉄筋処理		10.2	m			
C-2 クラック部モルタル面 サビ鉄筋処理		15.3	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25m ² 以上	0.8	m ²			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 一般部(16カ所/m ²)	23.1	m ²			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 指定部(25カ所/m ²)	9	m ²			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 狭幅部(5カ所/m)	22	m			
E-2 打放し部欠損部 処理	樹脂モルタル	0.5	m ²			
E-3 モルタル面欠損部 処理	樹脂モルタル	0.7	m ²			
F 外壁複合改修	ピンネット工法	32	m ²			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビス@450含む	20.5	m			
計						

渡り廊下（南側）		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		70.7	m ²			
整理清掃後片付け(外壁改修)		70.7	m ²			
養生(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	204	m ²			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	204	m ²			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W900 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 20m未満 180日	502	m ²			
くさび緊結式足場	180日 底部 プラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	71.5	m			
くさび緊結式足場	180日 屋上底部 プラケット 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共	22	m			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	22	m			
移動足場(ローリングタワー)	W=1.5m 1段 期間1ヶ月	3	台			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	502	m ²			
金網式養生枠	掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 180日	63.6	m ²			
出入口安全対策	コンパネ貼り養生(3方) W3600×H3600程度	2	か所			
計						

渡り廊下（南側）		外壁改修工事	防水改修工事			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	204	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	204	m ²			
出隅部面取り		208	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	204	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面 防滑仕上げ	183	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	9.8	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 笠木・手摺天端	104	m			
シーリング撤去	集積共 アスベスト含有	20.1	m			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.1	m ³			
シーリング	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	20.1	m			
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	23.3	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カラー)	径75 SUS金具共	23.3	m			
計						

渡り廊下（南側）		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	467	m ²			
A-1 打放し面表面劣化 処理		4.4	m ²			
A-2 モルタル面表面劣化 処理		13.3	m ²			
B-2 打放し面Uカットシール 材充填工法	1.0mm以上 挙動 有り	4.6	m			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	13.9	m			
C-1 クラック部打放し面 サビ鉄筋処理		6.3	m			
C-2 クラック部モルタル面 サビ鉄筋処理		25.2	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25m ² 以上	1.3	m ²			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 一般部(16カ所/m ²)	22.9	m ²			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 指定部(25カ所/m ²)	8.9	m ²			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25m ² 以下 狭幅部(5カ所/m)	21.8	m			
E-2 打放し部欠損部 処理	樹脂モルタル	0.3	m ²			
E-3 モルタル面欠損部 処理	樹脂モルタル	0.9	m ²			
F 外壁複合改修	ピンネット工法	48.6	m ²			
アルミ水切り取付 (材工共)	アルミ製 L-30×15×2.0 ステンレスビス@450含む	21.6	m			
計						

渡り廊下（南側）		発生材処分		発生材運搬費		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設発生材運搬費	廃プラ	0.1	t			
建設発生材運搬費	がれき類	0.5	t			
発生材運搬費	石綿含有産業廃棄物	1	式			
計						

渡り廊下（南側）		発生材処分			発生材処理費	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建設廃材処理費	廃プラ	0.1	t			
建設廃材処理費	がれき類	0.5	t			
発生材処理費	石綿含有産業廃棄物	0.1	t			
計						

屋外便所		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	34.4	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	34.4	m ²			
改修用ルーフトレン (トーム型)	75φ 縦型 材工共	1	か所			
出隅部面取り		44.7	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	34.4	m ²			
ケルタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面	31.3	m ²			
ケルタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	3.1	m ²			
たてどい撤去	VP管 集積共 金具共	2.6	m			
硬質ポリ塩化 ビニル管とい(カテー)	径75 SUS金具共	2.6	m			
計						

屋外便所		外壁改修工事		外壁劣化改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	63.1	㎡			
A-1 打放し面表面劣化 処理		0.5	㎡			
A-2 モルタル面表面劣化 処理		1.9	㎡			
B-2 打放し面Uカットシー ル材充填工法	1.0mm以上 挙動 有り	0.5	m			
B-6 モルタル面Uカットシー ル材注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	2	m			
C-1 クラック部打放し面 サビ鉄筋処理		0.7	m			
C-2 クラック部モルタル面 サビ鉄筋処理		2.7	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25㎡以上	0.2	㎡			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 一般部(16カ所/㎡)	3.1	㎡			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 指定部(25カ所/㎡)	1.2	㎡			
D-2 モルタル面アンカーピ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 狭幅部(5カ所/m)	2.9	m			
E-2 打放し部欠損部 処理	樹脂モルタル	0.1	㎡			
E-3 モルタル面欠損部 処理	樹脂モルタル	0.1	㎡			
計						

屋外便所		外壁改修工事			塗装改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	63.1	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	14.1	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ローター塗り アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	49	m ²			
計						

屋外便所		発生材処分		発生材処理費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設廃材処理費	廃プラ	0.1	t			
建設廃材処理費	がれき類	0.1	m3			
計						

屋外受水槽		仮設工事		直接仮設		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		52	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		52	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	29.4	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	29.4	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W600 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 30日	89.7	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 30日	18	m			
防護シート張り	防災I類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 30日	89.7	m ²			
計						

屋外受水槽		外壁改修工事	外壁劣化改修工事			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	49.5	㎡			
A-2 モルタル面表面劣化処理		1.9	㎡			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 有り	2	m			
C-2 クラック部モルタル面 サビ鉄筋処理		2.7	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25㎡以上	0.1	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 一般部(16カ所/㎡)	2.4	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 指定部(25カ所/㎡)	0.9	㎡			
D-2 モルタル面アンカービ ンニング部分注入エポ キシ樹脂	0.25㎡以下 狭幅部(5カ所/m)	2.3	m			
E-3 モルタル面欠損部処理	樹脂モルタル	0.1	㎡			
計						

屋外受水槽		外壁改修工事		塗装改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	49.5	m ²			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ロータ塗 アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	49.5	m ²			
計						

屋外受水槽		発生材処分		発生材処理費		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
建設廃材処理費	がれき類	0.1	m ³			
計						

体育倉庫		仮設工事	直接仮設			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生(外壁改修)		62.8	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		62.8	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	57	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	57	m ²			
くさび緊結式足場 (手すり先行方式)	W600 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 10m未満 60日	118	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 60日	23.4	m			
防護シート張り	防災Ⅰ類 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 60日	118	m ²			
計						

体育倉庫		外壁改修工事		防水改修工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度	57	m ²			
ケレン・清掃	防水面 ケレン・清掃	57	m ²			
出隅部面取り		29.6	m			
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・クラック処理	57	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 平面	54.1	m ²			
ウレタンゴム系 塗膜防水	X-2 立上 小庇・狭隘部含む	2.9	m ²			
計						

体育倉庫		外壁改修工事	塗装改修工事			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
水洗浄	外壁塗装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	77.8	㎡			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	18.1	㎡			
外装薄塗材 E (アスベスト外壁改修部分)	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-2 厚1~2mm程度 こて塗り吹付け下地)共	1.4	㎡			
複層塗材 E	コンクリート面 ゆず肌状 ロータ塗 アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	55.4	㎡			
複層塗材 E (アスベスト外壁改修部分)	コンクリート面 ゆず肌状 ロータ塗 アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-2 厚1~2mm程度 こて 塗り塗装下地)共	2.9	㎡			
OS塗り 改修仕様	木部 下地調整RB種(塗替え面)	10.2	㎡			
計						

体育倉庫		外壁改修工事	環境配慮改修工事			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
整理清掃後片付け		62.8	m ²			
粉塵飛散抑制剤吹付	施工前	4.3	m ²			
粉塵飛散防止剤吹付	施工後	4.3	m ²			
仕上げ塗材除去	壁厚 5mm程度 集塵機付 ^テ イスクライング ^テ -工法	4.3	m ²			
除去石綿処理	密封処理(二重梱包)	0.1	m ³			
環境測定	作業中 敷地境界1点 作業後 敷地境界1点 報告書作成	1	式			
計						

門扉		塗装改修工事			塗装改修工事	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
DP塗り(細物) (手摺支え柱)	鉄鋼面 3級 B種 下地調整RB種 配管端末穴埋共	62.8	m			
計						

